

名古屋経営短期大学・高田短期大学
相互評価報告書

名古屋経営短期大学・高田短期大学

平成24年3月

目 次

1. 学長挨拶	1
2. 相互評価協定書及び相互評価実施要領	3
3. 自己点検・評価に関する規程及び相互評価のための組織	6
4. 沿革及び現況等	15
5. 相互評価 質疑応答票	18
6. 相互評価会議	64
7. 相互評価 評価票	69
8. 相互評価関係資料一覧	102
9. 自己点検・評価委員長総括評価	103
10. 評価日程	105

1. 学 長 挨拶

高田短期大学との相互評価を実施して

名古屋経営短期大学
学長 古橋エツ子

平成 22 (2010) 年度、短期大学としてふさわしい教育や研究内容、そして名古屋経営短期大学の組織および設備を備えているかなど、私たちの手で確認する「自己点検・評価報告書」を作成することとなった。平成 14 (2002) 年度から数えて 4 度目である。

法律上は、7 年に 1 度の実施が義務付けられている平成 18 (2006) 年度の第三者評価とは違い、短期大学間における相互評価として実施される。本学と同じような規模を持ち、同じような内容の学科を設置している高田短期大学との相互評価は、比較すべき内容に類似点が多いという利点もあるが、相互に厳密に評価することができるという点では厳しい結果も想定される。

しかしながら、大学内での自己評価のみでは指摘されないような厳しい評価がされることが、わが国の少子化による 18 歳人口の減少、大学や短大の全入時代の到来といった危機や社会のさまざまなニーズに応えているか否かを自覚できる良い機会につながっている。

その意味では、きめ細かな教育、研究の充実、校務への取組などに関する自己点検・評価を推進することは重要である。具体的には、公開授業をはじめ、教育内容の公開、相互に関連する資料の提供、情報交換、学内での研究会など積極的に取り入れていきたい。

また、短期大学間の相互評価は、自らの教育・研究などへの点検をすることによって優れた点と改めるべき点とを確認できる良い機会である。その際、教育・研究などに対して各自が一定の目標を掲げ、それが年度末にどの程度達成できているかをチェックするという基本的な自己評価が、自らの改善につながる。同時に、自ら改善していこうという認識と行動が、本学発展の原動力となるであろう。

名古屋経営短期大学との相互評価を実施して

高田短期大学

学長 栗原 廣海

本学が外部より評価を受けるのは、今回で四度目になる。最初は、平成 15 年（2003）度に、栃木県の足利短期大学と行った相互評価、二度目は、平成 17 年（2005）度に受けた外部評価、三度目は、平成 19 年（2007）度に受け、すべての分野において適格の認定を得た、短期大学基準協会による第三者評価、そして今回の名古屋経営短期大学との相互評価である。文部科学省の認証を受けた認証評価機関による評価（認証評価）は、少なくとも 7 年に一度は受けることが義務づけられているわけであるから、本学が次に第三者評価を受けるのは、遅くとも平成 26 年（2014）度ということになる。その間に是非とも相互評価を実施したいと考えていたところ、名古屋経営短期大学から時宜を得て相互評価の打診を受け、喜んでお引き受けさせていただくこととなった。

平成 22 年（2010）9 月に本学から名古屋経営短期大学を訪問し、翌 23 年（2011）9 月には本学が訪問を受けて相互評価は進められ、この報告書作成にこぎつけた。

過去三度の評価において、本学は貴重な指摘を受け、その都度、改善に取り組んできた。自己点検・評価をし、PDCA がよく機能しているつもりでいても、井の中の蛙化し、気づかないでいた重要なことが少なからずあった。

そして今回の相互評価において名古屋経営短期大学の評価員の皆様から受けたご指摘も、本学にとって重要な、有り難いご指摘であった。内容は本文の記述に譲るが、早速次年度に向けて改善に取り組んでいるところである。

少子化に伴う 18 歳人口の減少が短大の学生募集を圧迫しているのは全国的な現象であるが、三重県もその例に漏れるものではない。ここ 2 年、18 歳人口は数十名ずつ減少し、その減少がほぼ短大進学者の減少につながっているのが現実である。このような厳しい現実の中で、短期大学として重要なことは、地域社会がどのような社会人の育成を求めているかをつぶさに把握し、建学の精神・教育理念を基底として、その要請に応える教育を実施し、その事実を広く周知していくことであろう。

相互評価でご指摘いただいた課題に真摯に取り組み、改善することを通して、「仏教精神に基づく人間教育」の建学の精神と、「やわらか心の社会人の育成」の教育理念のもと、更なる教育研究と地域社会への貢献の向上を目指し、ステップアップする覚悟である。

最後に、相互評価の相手校としてお声掛けくださり、誠意ある適格な評価をくださったことに深く感謝の意を表するとともに、学長先生はじめ教職員の皆様が心一つにして、いよいよ貴学の発展に尽くされることを念じて、お礼の言葉に代えたい。

2. 相互評価協定書及び相互評価実施要領

高田短期大学・名古屋経営短期大学 相互評価協定承諾書

高田短期大学と名古屋経営短期大学は、両短期大学の教育・研究の質的向上を図るため、以下のとおり相互評価を実施することに同意いたします。

1. 相互評価の目的

両短期大学の相互評価は、「第三者評価」の実績をより確かなものとするため、「自己点検・評価」の結果などを参考に、教育・研究の改革、改善の内容と、今後の課題について相互に評価し、両短期大学の教育・研究の更なる充実、発展を図ることを目的とする。

2. 相互評価の実施方法

両短期大学で協議の上、相互評価実施要領を作成し、それに従う。

3. 相互評価に関する協定承諾書等について

本相互評価協定承諾書の改廃ならびに相互評価に関する事項の取り扱いについては、両短期大学で協議する。

この協定を証するため、本相互評価協定承諾書を2通作成し、両学長捺印の上、各々1通を保管する。

平成 21 年 9 月 4 日

高 田 短 期 大 学

学 長 栗 原 廣 海



名 古 屋 経 営 短 期 大 学

学 長 古 橋 エ ツ 子



相互評価実施要領

(1) 相互評価協定承諾書締結（場所：高田短期大学）

・同席者

名古屋経営短期大学 学長：古橋エツ子、自己点検・評価委員長：片野田浩子、
総務課長：萩原 満

高田短期大学 学長：栗原廣海、自己点検・評価委員長：大西眞純、
事務局長：河北浩峰、教学部長：伊藤茂一

(2) 今後の予定

・名古屋経営短期大学側の評価

平成 22 年 7 月（平成 19, 20, 21 年分）に「自己点検・評価報告書」を作成する。
平成 22 年 9 月または 10 月に名古屋経営短期大学の評価に来訪。

・高田短期大学側の評価

平成 23 年 7 月（平成 19, 20, 21, 22 年分）に「自己点検・評価報告書」を作成する。
平成 23 年 9 月または 10 月に高田短期大学の評価に来訪。

(3) 双方の「自己点検・評価報告書」の他、相互評価後に「短期大学間相互評価報告書」を作成し、短期大学基準協会に報告する。

・形式は Q&A 方式をとる。

(4) 「自己点検・評価報告書」の項目

・第三者評価項目に準ずる。（自己点検・評価報告書作成マニュアル 財団法人短期大学基準協会）

(5) 相互評価の実施日程

<平成 22 年度>

平成 22 年 4 月初旬	平成 21 年度「相互評価協定承諾書締結」内容確認および今後の具体的日程と実施内容の調整
平成 22 年 6 月下旬～7 月初旬	名古屋経営短期大学「自己点検・評価報告書」および「自己点検・評価添付資料」送付 ※A4 サイズハードファイル（各々 1 冊）にて作成 加除式 両面印刷
平成 22 年 9 月中旬（9 月 14 日）	第 1 回相互評価会議（訪問調査） 高田短期大学が名古屋経営短期大学を訪問

<平成 23 年度>

平成 23 年 6 月下旬～7 月初旬 高田短期大学「自己点検・評価報告書」および「自己点検・評価添付資料」送付

※A4 サイズハードファイル（各々 1 冊）にて作成
加除式 両面印刷

平成 23 年 9 月中旬（9 月 14 日）第 2 回相互評価会議（訪問調査）

名古屋経営短期大学が高田短期大学を訪問

（6）相互評価報告書の作成・公表

報告書作成については、作成内容および形式は相互評価会議で決定し、平成 24 年 3 月下旬までに「相互評価報告書」を作成し、財団法人短期大学基準協会に報告し、その後、公表する。

（7）相互評価会議の構成等

- 1) 両短期大学の相互評価員（訪問者）及び必要とされる教職員によって構成する。
- 2) 相互訪問の記録は、訪問評価員が作成し、相手校の確認を得る。

3. 自己点検・評価に関する規程及び相互評価のための組織

名古屋経営短期大学 自己点検・評価に関する規程

名古屋経営短期大学自己点検・評価委員会規程

(目的)

第1条 本学に、学則第2条に定める自己点検及び評価（以下「自己評価等」という。）を行うため、自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任務)

第2条 委員会は、次の事項について検討し、実施計画を作成して自己点検・評価等を行い、そのまとめを公表する。

- (1) 自己評価等の項目に関すること
- (2) 自己評価等の実施に関すること
- (3) 自己評価等のまとめとその公表に関すること
- (4) その他自己評価に関し必要と思われること

2 前項の計画を作成するに当たっては、関係学内組織の意見を聴くものとする。

3 自己評価等の公表に当たっては、事前に理事会の承認を得るものとする。

(委員)

第3条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 学科長
- (3) 事務局長
- (4) 学長の委嘱する委員 若干名

(任期)

第4条 学長の委嘱する委員の任期は、1年とする。但し、再任を妨げない。

(運営)

第5条 学長は、委員長として委員会を主宰する。

2 委員会は、必要ある場合、委員以外の者の出席を求め、その意見等を聴くことができる。

3 委員会は、その必要に応じ学内組織等から、自己評価等に関する資料の提出を求めることができる。

(小委員会の設置)

第6条 委員長は、自己点検等を実施するため小委員会を設けることができる。

2 小委員会は、学長の委嘱する委員で構成する。

(事務)

第7条 委員会の事務は、総務課が行う。

(補則)

第8条 この規程に定めるもののほか、必要な事項については、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

高田短期大学 自己点検・評価に関する規程

高田短期大学自己点検・評価委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、高田短期大学学則第2条第2項の規定に基づき、本学の教育研究活動及び管理運営等の状況について、自ら点検及び評価(以下「自己評価等」という)を行い、改善に努め、その結果を公表し、本学の存立意義を広く社会に提起するとともに、教育と研究を活性化することを目的とする。

(委員会)

第2条 本学に高田短期大学自己点検・評価委員会(以下「委員会」という)を置く。

2 委員会は、本学の自己評価等の基本方針を検討するほか、次の各号に掲げる自己評価等の実施に関する事項を処理する。

- (1) 実施計画に関すること。
- (2) 点検・評価に関すること。
- (3) 公表に関すること。
- (4) その他自己評価等に関する必要なこと。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、学長から指名された委員長が主宰し、構成については、「高田短期大学校務運営に関する細則」による。

(委員以外の出席)

第4条 学長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

(専門部会)

第5条 委員会に自己評価等を行うため必要に応じ、専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、自己評価等の項目に関する事項を処理する関連の委員会とする。

(点検評価事項)

第6条 委員会は、次の各号に掲げる事項の自己評価等を行う。

- (1) 教育理念・目標等
- (2) 教育活動
- (3) 研究活動
- (4) 施設設備
- (5) 国際交流
- (6) 生涯学習への対応
- (7) 社会との連携
- (8) 大学運営
- (9) 自己評価体制

(10) その他委員会が必要と認める事項

2 前項に定める事項についての具体的な項目については、委員会が定める。

(第三者による評価)

第7条 委員会は、点検・評価の結果について、「認証評価機関による第三者評価」「外部評価」「相互評価」等を実施する。

2 実施規程を別に定める。

(自己評価等に関する公表)

第8条 委員会は、自己評価等の結果をまとめ、本学の目的及び社会的使命を達成する上で必要と認める事項について公表する。

(自己評価等の結果の対応)

第9条 学長は、委員会の自己評価等の結果に基づき、改善が必要と認められるものについては、自ら改善に努める。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年2月14日から施行する。

高田短期大学相互評価実施規程

(目的)

第1条 この規程は、他の短期大学との相互評価を実施するための必要事項を定めることを目的とする。

(相互評価相手校の決定)

第2条 相互評価相手校は、本学教授会での審議を尊重し、学長が決定する。

(準備委員会)

第3条 相互評価を実施するための「相互評価準備委員会」(以下「準備委員会」という)を置く。

2 準備委員会の委員長は、自己点検・評価委員長が兼ね、同時に準備委員会の委員は、自己点検・評価委員が兼ねる。

3 準備委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(準備委員会の任務)

第4条 準備委員会の任務は、次に定める事項とする。

(1) 相互評価実施のための、評価事項、項目、方法及び指標の作成

(2) 評価に必要なデータの準備と確認

(3) 相互評価実施体制の整備

(4) 相互評価報告書の作成

(5) 相互評価相手校との対応

(6) その他相互評価の円滑な実施に必要な事項

(専門部会)

第5条 準備委員会に、相互評価を行うため必要に応じ、専門部会を置くことができる。

(庶務)

第6条 相互評価及び準備委員会の庶務は、事務局総務課において処理する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

高田短期大学外部評価実施規程

(目的)

第1条 この規程は、高田短期大学学則第2条第2項に基づく、高田短期大学自己点検・評価委員会規程による自己点検・評価結果について、学外者による検証(以下「外部評価」という)を行うために必要な事項を定めることを目的とする。

(実施者)

第2条 外部評価は、学外者の協力を得て学長が実施する。

(組織)

第3条 外部評価を実施するため、外部評価委員会(以下「委員会」という)を置く。

2 委員会は、学長が委嘱した学外者で構成する。

3 委員会には、委員長を置き、委員長の選出は委員の互選とする。

4 委員長は、委員会の議長となり、必要に応じて委員会の意見を調整するとともに、評価結果について各委員の意見を添えて学長に答申する。

5 その他委員会の運営に関しては、委員会が定める。

(準備委員会)

第4条 外部評価を円滑に実施するため、外部評価準備委員会(以下「準備委員会」という)を置く。

2 準備委員会は、自己点検・評価委員会が兼ね、準備委員長は、自己点検・評価委員長とする。

3 学長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(準備委員会の任務)

第5条 準備委員会の任務は、次に定める事項とする。

(1) 委員会に提示する評価事項、項目、方法及び指標等の作成

(2) 委員会が求める評価に必要なデータの提供

(3) 委員会の求めに応じた外部評価実施計画の立案

(4) 外部評価実施体制の整備

(5) 外部評価報告書の作成

(6) その他外部評価の円滑な実施に必要な事項

(専門部会)

第6条 準備委員会に、外部評価を行うため必要に応じ、専門部会を置くことができる。

(庶務)

第7条 委員会及び準備委員会の庶務は、総務課において処理する。

附 則

この規程は、平成18年2月8日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年2月14日から施行する。

高田短期大学第三者評価実施規程

(目的)

第1条 この規程は、第三者認証評価機関(以下「認証機関」という)による第三者評価(学校教育法に基づく)を実施するための必要事項を定めることを目的とする。

(認証機関の決定)

第2条 認証機関は、本学教授会での審議を尊重し、学長が決定する。

(準備委員会)

第3条 第三者評価を実施するための「第三者評価準備委員会」(以下「準備委員会」という)を置く。

2 準備委員会の委員長は、自己点検・評価委員長が兼ね、同時に準備委員会の委員は、自己点検・評価委員が兼ねる。

3 認証機関との対応は、準備委員長が行う。

4 準備委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(準備委員会の任務)

第4条 準備委員会の任務は、次に定める事項とする。

(1) 認証機関による評価項目、指標などの確認

(2) 評価に必要なデータの準備と確認

(3) 第三者評価報告書の作成

(4) 認証機関との対応

(5) その他第三者評価の円滑な実施に必要な事項

(専門部会)

第5条 準備委員会に、第三者評価を行うため必要に応じ、専門部会を置くことができる。

(庶務)

第6条 第三者評価及び準備委員会の庶務は、事務局総務課において処理する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

名古屋経営短期大学の相互評価のための組織

役 職	氏 名	備 考
理事長	高木 弘恵	
短大学長	古橋エツ子	健康福祉学科教授
総合ビジネス学科長	片野田浩子	総合ビジネス学科教授
子ども学科長	穉丸 武臣	子ども学科教授
健康福祉学科長	志水 暎子	健康福祉学科教授
短大・大学事務局長	青木 修	
自己点検評価委員長	上田 智子	健康福祉学科准教授
ALO・教務委員長	西川三恵子	総合ビジネス学科教授
総務課長	萩原 満	
教務統括課長	近藤 真	
教務短大課長	後藤 康文	
ISO環境管理事務局	箕島 哲也	
学生支援委員長	(代)陳 恵貞	
学生課長	野末 恭司	事務局次長
キャリア支援委員長	田淵 哲明	総合ビジネス学科准教授 FD担当
キャリア支援小委員長 (インターンシップ)	山下 真弓	総合ビジネス学科教授
キャリア支援小委員長 (公開講座)	藤林 清仁	子ども学科助教
就職小委員長	山本 芳功	総合ビジネス学科教授
キャリア支援課長	二宮 基次	
入試広報委員長	伊藤 重男	総合ビジネス学科教授
短大入試広報課長	中西 純也	
図書・紀要委員長	陳 恵貞	子ども学科准教授
図書館長	河合 武	
図書館主任	鈴木 奈保	
情報センター長	小田 隆博	名古屋産業大学教授
情報センター室長	小椋 一徳	
経理課長代理	羽場 文恵	
法人事務局長	山口 淳	
自己点検評価委員	仲田 照子、吉田 幸恵 (上記以外)	

高田短期大学の相互評価のための組織
(自己点検・評価委員会)

役 職	氏 名	備 考
自己点検・評価委員長	三宅 啓子	子ども学科教授
子ども学科長	山崎 征子	子ども学科教授
人間介護福祉学科長	千草 篤磨	人間介護福祉学科教授
オフィス人材育成学科長	鷺尾 敦	オフィス人材育成 (オフィス情報) 学科教授
図書館長・図書委員長	畠山 義啓	オフィス人材育成 (オフィス情報) 学科教授
育児文化研究センター長	福西 朋子	子ども学科教授
仏教文化研究センター長	采罌 真澄	子ども学科教授
学務委員長	高木 直人	オフィス人材育成 (オフィス情報) 学科教授
入試広報委員長	宮崎つた子	子ども学科教授
キャリア支援委員長	佐藤 完	人間介護福祉学科教授
学長補佐	鼎 龍教	
事務局長・学苑本部事務局長	河北 浩峰	
教学部長	伊藤 茂一	
事務局次長・課長	藤井 徳雄	
総務課係	生桑 崇	

4. 沿革及び現況等

名古屋経営短期大学の沿革・現況等（平成22年5月現在）

法人及び短期大学の概要				
学校法人 菊武学園	488-8711 尾張旭市新居町山の田3255-5	理事長 高木 弘恵		
名古屋経営 短期大学		学長 古橋エツ子	総合ビジネス学科	245
			子ども学科	111
			健康福祉学科	78
法人が設置する他の教育機関の概要				
名古屋産業大学	488-8711 尾張旭市新居町山の田3255-5	学長 伊藤 雅一	大学院	30
			環境情報ビジネス 学部	889
菊華高等学校	463-8718 名古屋市守山区小幡五丁目8番 13号	校長 山岸 鳴門	全日制課程普通科 情報ビジネス科	639
			通信制課程商業科	485
菊武ビジネス 専門学校	461-0012 名古屋市東区相生町60番地	校長 馬淵 正雄	商業実務専門課程 商業実務高等課程	496
ビジネス教養 専門学校エクセ レンス	462-8580 名古屋市北区平安二丁目15-43	校長 高木 秀典	商業実務専門課程 文化・教養専門課程	172
菊武幼稚園	486-0913 春日井市柏原町一丁目60番地	園長 二宮 邦夫		211

名古屋経営短期大学の沿革の概要及び沿革	
昭和23年11月16日	名古屋市東区赤塚町にて菊武タイピスト養成所創立。
昭和26年6月19日	愛知県より菊武タイピスト学校設置認可。
昭和28年2月14日	愛知県より学校法人高木学園設置認可。
昭和37年2月3日	学校法人高木学園守山女子商業高等学校設置認可。 学校法人高木学園を学校法人菊武学園に名称変更。
昭和37年4月1日	守山女子商業高等学校開設。
昭和40年1月25日	名古屋女子商科短期大学商科設置認可。
昭和40年4月1日	名古屋女子商科短期大学開設。
昭和43年3月11日	守山女子商業高等学校通信制課程設置認可。
昭和43年4月1日	守山女子商業高等学校通信制課程開設。

昭和44年 4月 1日	菊武幼稚園設置認可され、同日開設。
昭和51年 4月 1日	菊武タイピスト専門学校設置（切替）認可。
昭和59年 4月 1日	菊武タイピスト専門学校を菊武女子経済専門学校と改称。
昭和63年 4月 1日	名古屋女子商科短期大学経営情報科開設。
平成 元年 2月10日	ビジネス専門学校名古屋インフォメーションスクール設置認可。
平成 元年 4月 1日	ビジネス専門学校名古屋インフォメーションスクール開設。
平成 4年 3月 2日	守山女子商業高等学校全日制課程普通科設置認可。
平成 4年 4月 1日	守山女子商業高等学校を菊華高等学校と改称し、普通科開設。
平成 7年 3月15日	ビジネス教養専門学校エクセレンス設置認可。
平成 7年 4月 1日	ビジネス教養専門学校エクセレンス開設。
平成 8年 5月13日	ビジネス専門学校名古屋インフォメーションスクール廃止認可。
平成10年 4月 1日	菊武女子経済専門学校を菊武ビジネス専門学校と改称。
平成11年12月22日	名古屋産業大学設置認可。
平成12年 4月 1日	名古屋産業大学開設。 名古屋女子商科短期大学を名古屋経営短期大学と改称。
平成15年11月27日	名古屋産業大学大学院設置認可。
平成16年 4月 1日	名古屋産業大学大学院人間環境マネジメント学科開設。
平成19年 4月 1日	名古屋経営短期大学子ども学科開設 名古屋産業大学大学院博士後期課程開設
平成20年 4月 1日	名古屋経営短期大学健康福祉学科開設

高田短期大学の沿革・現況等（平成23年5月現在）

法人及び短期大学の概要				
学校法人 高田学苑	〒514-0125 津市大里窪田町字下沢 2865-1	理事長 ・ 学苑長 高臣 文祥		
高田短期大学	〒514-0115 津市一身田豊野195	学長 栗原 廣海	子ども学科	300
			オフィス人材育成学科	140
			人間介護福祉学科	57
法人が設置する他の教育機関の概要				
高田高等学校	〒514-0114 津市一身田町2843	校長 梅林 久高	普通科（全日制課程） ※6年制を含む	1,759
高田中学校	〒514-0114 津市一身田町2843	校長 梅林 久高	※中高一貫教育	620

高田短期大学の沿革の概要及び沿革	
昭和41年 1月25日	高田短期大学設置認可
昭和41年 4月 1日	高田短期大学保育科開設（入学定員50名）
昭和51年 4月 1日	保育科入学定員を100名に増員
昭和58年12月22日	教養学科設置認可
昭和59年 4月 1日	教養科開設（入学定員80名）
平成 元年 4月 1日	教養科入学定員を100名に増員
平成 3年 4月 1日	教養科期間を付した入学定員増（50名）を許可
平成 5年 4月 1日	保育科を幼児教育学科、教養科を教養学科に改称
平成11年 7月28日	教養科期間を付した入学定員増（50名）を廃止・教養学科入学定員を120名に増員
平成12年12月21日	オフィス情報学科設置許可
平成13年 4月 1日	教養学科を廃止してオフィス情報学科を開設（入学定員120名）
平成17年12月 5日	人間介護福祉学科設置許可
平成18年 4月 1日	人間介護福祉学科開設（入学定員40名）
平成18年 4月 1日	幼児教育学科を子ども学科に改称し入学定員を150名に増設
平成18年 4月 1日	オフィス情報学科の入学定員を60名に変更
平成23年 4月 1日	オフィス情報学科をオフィス人材育成学科に改称

5. 相互評価 質疑応答票

I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
1	I-1 建学の精神、教育理念について	11 104	学園創立の礎である「愛情教育」、学園創設の理念と建学の精神とはどのような関係ですか。もう少しその関係を教えてください。	「愛情教育」については、学生との絆は親子のような愛情を持って接するようという創設者の母への思いが込められています。そして、「建学の精神」では、学生が社会で自立して活躍できる教育、すなわち職業教育で社会に貢献するという思いが込められています。
2	I-2 教育目的、教育目標について	12 13	報告書と学生便覧の記載(表現)において各学科の教育理念と教育目標の示し方が統一化されておりませんが、敢えてそのようになさったのですか。	社会貢献するために、それぞれの学科が確実な資格・免許を取ってほしいと考えています。そのため、各学科の学生が理解しやすいようなサポート体制をとっていることから、必要に応じた記載方法になりました。
3		13	健康福祉学科独自の10カ条「『ひと』としてマナー」を定めとありますが、どこに記載されていますか。	プリント「『ひと』としてのマナー」を学生にも非常勤講師にも個別に配布しています。効果はあります。
4		13	学科・専攻間で共有するために統一した施策はお持ちになっておられますか。それをどのように共有化されていますか。	各学科では、月1回以上全員出席の会議を持っています。特に、子ども学科では毎週会議を開催して、学生が保育者としてふさわしい人になれるような努力をするように、学科教員全員で意思統一して教育的な努力をしています。また、学科間の共通意識はオープンキャンパス等で学科の特徴と目指す教育を再確認し意識の共有化を図っています。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
5	I-3	14	第三者評価後、見直しをされた理由はどのようなことからですか。また、実質的な議論は、どこでどれくらい行われましたか。次の見直しは、どのタイミングで行う予定ですか。	理事会を通して変更を行いました。基本的なところは変わっておりません。 1学科から3学科体制になった時点で見直しましたが、見直しというよりも付加した形で行いました。また、平成20年度は建学60周年ということもあって、短期大学憲章を制定しました。 実質的な議論は、各学科会で話し合い、その結果をもって教授会で議論しました。
6	定期的な点検等について	14	学生の資質変化に対して具体的に現在検討されている施策はありますか。何か資料がありましたら説明を簡単をお願いします。	健康福祉学科では、精神面が弱い学生には、特にきめ細かく話を聞く時間をとっています。たとえば、学生が教員の研究室を気軽に訪問しやすくなるような雰囲気作りに気を配っており、カフェ的研究室もあります。また、学生とのランチタイムを水・木曜日に設けて来室を促してコミュニケーションを図っています。

II 教育の内容

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
7	II-1 教育課程について	15	3学科共通科目である「ライフプランニング」の内容は授業資料（評価の方法）としては、シラバスのみですか。	具体的な教科内容はシラバスにて示してありますが、どんな人も社会に出ると、子育て並びに健康福祉に関わるので、折に触れて人としてのマナーや対応の仕方の教育に力を注いでいます。また、「ライフプランニング」に関するレポートの提出を求め、教員は必ずコメントを記入して返却しています。試験時のレポートは保存して以後の指導に還元しています。学生からの評価として、「他学科の学生と授業を受講できて良かった。他教科への広がりを考える機会となった」等と、コメントしている学生が印象的です。
8		15	学生の資質や社会での実践力を付けられるように多くの選択科目を設置されていますが、選択状況と学習効果はどうか。（特にコース制の選択と決定方法）	選択科目は5名以下の場合「閉講」としてしています。総合ビジネス学科「基礎ゼミナール」では、1年次10月末に2年生ゼミ希望に向けて担当者変更も可能とし、より専門的なゼミナール教育を推進しています。
9	II-2 授業内容・教育方針について	26	教育課程の改定及び改善が必要になった時にはどのような手続きで対応されていますか。（組織として各学科・事務局等の関係性も含めて、例:カリキュラム委員会と学科会議の関係性と教務課等）	各学科でまずは検討し、その結果を教授会にあげます。また、内容によっては、各学科教務委員は問題を精査し、本部事務局に伺いを立てています。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問 番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
10	Ⅱ－２ 授業内容・教育方針について	22 26	総合ビジネス学科が「授業、ゼミ、ガイダンスを関連付けて、指導教育効果を高める仕組みを構築しつつある」とありますが、具体的にはどのような仕組みですか。	<p>ゼミを通して個人指導が基本です。入学してすぐに個人面談をゼミごとに実施し、学习上困ったことはないかなどを聞きます。たとえば、マイクの声が聞きづらいとか、授業が難しいとか。それらの問題ごとに関係各所に直接伝えることで改善をしています。</p> <p>学生ごとにばらばらのカリキュラムとなるので、学習のアドバイスをゼミが中心となって進めています。以前はしておりませんでした。履修指導も手取り足取りで丁寧に行い、細かい指導をしています。</p> <p>総合ビジネスでは、コースコア科目があり、各コースの教員が、自分のコースを構築するためにそのコースについて検討し、さらに発展するために今の時代にどういうものが社会人として必要かを考えて、学科会議で意見交換しています。非常勤講師に委ねているコースでは、それらの情報を伝えて、連携を密にしています。</p> <p>基礎ゼミナールは木曜日3限目にあり、その次の4限目には就活アワーの時間を設けています。この時間には授業を入れず、また単位にもなっておりませんが、ゼミが終わって全員がいるところで、就職活動を中心に、少数のゼミで集まったり、全体で集まったりしています。</p>

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問 番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
10	Ⅱ－２ 授業内容・教育方針について	26		<p>基礎ゼミは1年必修ですが、2年はコースごとで時間割上難しく、基礎ゼミのような時間はありません。しかし、できるだけ時間を作って学生に対応しています。</p> <p>1年で基礎ゼミ、2年生はコースごとの専門科目がありますが、2年のゼミナールはコースとは別です。基礎ゼミは学科で割り振り、2年生は学生の希望でわかれています。1年次の大学祭打ち上げ後の10月に希望をとります。</p> <p>学園祭が毎年10月第2週に行われ、それが終わってからゼミ分けをします（総合のみ）。就活が2、3月になるので、前倒しで教員と顔合わせて相談しあえるように、10月末でゼミをわかれています。</p>

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
11	Ⅱ－２ 授業内容・教育方針について	26	リーダーになる学生はどの様に育てておられるのですか。(学習環境の向上化対策例があれば教えてください。)	子ども学科では、少人数制教育をしていますので、各教員の指導が行き届く体制です。そのことにより、学生の資質を良く把握できることから、その学生に応じた指導を粘り強く指導できます。その間に学生同士も仲間の気質・力量を理解して、リーダーも生まれていきます。そういった学習環境が相互に向上する結果に繋がっていると考えています。そのように導くため、教員が集団的に討議を重ねて常に向上化対策を話し合っています。
12		26	シラバスの授業計画で、数回同じことが掲載されていますが、少し補足があった方がよいのでないでしょうか。また、評価が割合でしめされているだけが多いですが、その点はどのように考えておられますか。	シラバスの記載ミスがところどころあるようです。今後シラバスの書式統一と記載内容の明確化をさらに検討したいと思います。
13	Ⅱ－３ 教育改善の努力について	28	子ども学科ゼミ報の共有とは、どのようなものですか。	「基礎ゼミ」「専門ゼミ」「卒業ゼミ」の内容です。学年全体でどういうことを伝えていったら良いか、進行状況・問題点等を原則として1回1枚とし、年間30枚以上になっています。また、兼任教員との間で、1年に1度懇親会を開催し、学生の状況を共有しています。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
14	Ⅱ-3 教育改善の努力について	28	学科会議でのFD会議に要する時間はどれだけ取っておられますか。	FD会議は年間30回以上開催される学科会議の中で必要に応じて会議しております。
15		27 28	学生による授業評価アンケートの後先生方がコメントを書かれますが、それを冊子にして、全学生、全教員が見られるようにしているのですか。	学生、全教員が、1か月自由に閲覧できるようにアンケート結果一覧を学内に設置しています。
16		28	本学は、学生には示していませんので参考にしたいのですが、結果を学生に提示することによって、どのような影響あるいはよくなったことはありますか。	15回の授業の終わりや、真ん中の時期など、いろいろ試行しています。今は10回目頃に実施しています。終わりにすると学生がテストのことを気にしてしまうのではないかと思います。一番やりたかったことは、評価して直接、当該学生に返すことです。そのため、10回ぐらいに実施しています。授業がだいたい終わり、授業が終わる前に学生にフィードバックできます。
17	Ⅱ-4 特記事項について	29	情報科目で習熟度別授業とありますが、どのようにして分けておられるのでしょうか。情報の履修の有無というのでは分けられないとおもいますが、その点はいかがでしょう。	情報教育委員会で適宜対応してクラス運営をしています。2/3が理解できていないと思います。いろいろ試行しましたが、習熟度別にする方が運営しやすく、高校の成績で4クラスに分けています。
18			「音楽Ⅰ」ピアノおよび音楽の習熟度別とはどのようなになさっておられるのですか。 また、＜音楽Ⅱ＞についてはどうでしょうか。	音楽の技能・技術教育は基本的に個人レッスンなので習熟度別教育となっています。 音楽Ⅱも同様です。

Ⅲ 教育の実施体制

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
19	Ⅲ-1 教員組織について	31	各学科の教員定数は充足していますが、全体的に専任教員数、教授数に余裕がないので、この点はどのように考えておられますか。	年齢構成を含め、来年度以降改善を予定しています。
20		32	研究活動・研究業績取得に向けて、教育・校務・研究・社会貢献に費やす時間の確保はどの様にされていますか。	1週間4日勤務し、1日は研究日としています。
21		32	教員別担当コマ数のばらつきがありますが、基準コマ数と実数は決められているのでしょうか。	担当科目は通年で7コマずつが原則です。特任教員は2~3日勤務となっています。なお、担当科目で差が生じ持ちコマが少ない先生は、その他色々な校務をして戴いております。
22		33	情報センター内の専門職員が情報教育のサポートを行っているということですが、直接授業をフォローするTAはいるのですか。	センター職員は、授業環境づくりのサポートであり、授業そのものには関わっていません。授業の直接サポートとしては、必要な場合は大学生、大学院生のTAを教務に申請し、教授会の決定を経て支援をすることができます。コンピュータ授業のクラス人数は、40名が最大となっています。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
23	Ⅲ－２ 教育環境について	35	放課後の PC 教室利用は認めていないのはどの様なことからですか。	職員の勤務時間にあわせており、現在は 18 時に延長しています。ゼミナール等から申請があれば、先生がいる限り無制限となっています。
24		40	「衛生委員会」の組織の現状と定期点検の方法はどのようになさっていますか。	学園組織であり、法人全体を包括しています。毎年各部所持ち回りで施設の安全衛生面について検察を実施しています。
25	Ⅲ－３ 図書館・学習資源センターについて	41	図書購入、廃棄の流れや基準が記載されていますが、システムとしての規定は整備されているでしょうか。	図書館規程が整備されています。
26		42	学生利用の状況を把握する試みはどのようにしておられますか。	全体の数はつかめています。2008 年度は全館 3301 冊、人数は 2700 人あまりでした。2009 年度は若干増えています。 学科の違いによる特徴まではつかめていません。
27			熱心な学生の直接選定作業の依頼とありますが、図書メイトのようなボランティア活動として明確に位置づけておられますか。また、その試みはどれくらいの規模（人数、冊数等）で行っているのですか。ここで記載されている熱心な学生の選定基準はどのようなものですか。	公募をして、各学科から合わせて 5 名を選んでいます。図書館をよく利用している学生を誘うこともあります。その他、学生本人が書籍を希望する場合は、学生リクエストという制度があります。

IV 教育目標の達成度と教育の効果

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
28	IV-1 単位認定について	44 46 48	不可が50%を超える科目がいくつかみられますが、それはどのようなことからですか。	学習の深化を図るためです。繰り返し再教育することによって、学習の成果を高める教育を徹底して実践しています。
29		49	単位の年度配分（セメスター配分）は具体的にどのようなになっていますか。	半期ごとに2年間で4セメスターとし、1年生が1,2セメスター、2年生が3,4セメスターになります。
30		49	子ども学科で実習に参加させないハードルを設けているとありますが、実際、実習参加できない学生の数はどれくらいありますか。ハードルの内容を教えてください。	子ども学科では実習参加するための必要科目がいくつか設定されていて、その科目を9割取得出来ていないと実習参加は認めないようにして、学習の成果を大切にしています。
31	IV-2 授業に対する学生の満足度について	51	学長宛の投書箱で改善につながったものは具体的にありますか。その内容を教えてください。また、投書箱による改善方法で弊害はないのでしょうか。あれば、併せてお聞かせください。	禁煙の要望に対して喫煙場所を限定したり、売店を広くして営業時間も延長しました。そのほか、教員への不満など教育を改善するきっかけとなりました。また、無記名での投書もありますが、記名者には直接会うようにしています。
32	IV-3 退学、休学、留年の状況について	52	対象学生で学費等において、徴収不能にならいたための方策はどのようなになっていますか。	学費未納者については、本人に連絡を取っています。留学生が帰国した場合は本国の支弁者へも連絡を取っており、留学生選抜基準を強化しています。また、本年保険会社と学資ローンに関する契約を締結しました。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
33	IV-4 資格取得の取組み について	54	資格取得のための科目が各学科とも多く開講されていますが、選択状況と学習状況の効率の検討がなされているのでしょうか。	卒業単位と取得単位の区別化（健康福祉学科）を明確化して、学生に選択を促しています。 また、子ども学科では、資格水準維持のため選択科目の必要性について学生に話し、教育の充実化について常に教員間で検討しています。
34		54 55	現代学生の学習意欲の低下はどこでも危惧されていますが、取得率アップの対策はどの様にされていますか。 多様な資格を準備してもすべて開講されていない現状と必要性についてのお考えをお聞かせください。	子ども学科における免許・資格の取得率はおよそ入学定員の2/3の状況です。しかし、結果として卒業のみの学生にも、平成24年度入学生から何かの資格を持って卒業させたいと考えています。
35		54	ビジネス実務士、情報処理士取得者が少ないように思いますが、どうしてでしょうか。考えられるその原因をお聞かせください。 また、総合ビジネス学科はコースによって取得する資格は違うのですか。学生の取得熱はどうか、意欲的ですか。	総合ビジネス学科135名のうち、たとえばキャリア秘書コースは15名から20名です。そのコース全員が取得できる状況ではありますが、コース全員が取得するわけではありません。また、他のコースの学生も取得できます。コースの必修科目・選択必修科目はありますが、費用がかかることもあり秘書士等の取得は自由としています。アナウンスはしますが、学生の取得熱は乏しく、今のところ必修化しようとは考えていません。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
35		55	子ども学科の資格取得はどうですか。	幼稚園・保育士ともに、学生全員に取得指導をしていますが、不合格等があり全員が取得できてはいません。保育士46名中8割少々、幼稚園39名中7割少々です。
36	IV-4 資格取得の取組みについて	55	学生に人気のある資格はどのような資格ですか。	子ども学科では、「保育心理士」「ベビーシッター資格」「幼児安全支援員」「障害者スポーツ指導員」などを新たに予定しています。その他、在学中に挑戦できる「食育指導士」「幼児指導者検定」「ネイチャーゲームリーダー」「キャンプインストラクター」「おもちゃインストラクター」「子ども環境管理士」等が考えられます。
37	IV-5 学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について	56	受講科目と就職先の関係は全体的な傾向はどうですか。また、具体的に、コース教育による企業就職の効果はありますか。 (専門職への就職率)	今のところ、総合ビジネス学科のコースによる教育内容と就職先の関係は明確に結果として出ていませんが、本学科の教育内容が企業で評価され就職できる学生も多数あります。
38	学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について	57	卒業後、学生と企業（保育現場も含めて）とのマッチングはどうですか。できれば、具体的にどのような事が起きているかお聞かせ戴けませんでしょうか。また、その対策はどのようになさっておられますか。	即戦力としての保育者・幼児教育者として、職に就くために必要な内容と学生の希望する内容のミスマッチ（希望と実際）が年々多く出てきています。そのため、主としてゼミ教員が学生とのコミュニケーションを深め、話をきく態度を持って話し合う時間をできるだけとるようにしています。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
39	IV-6 特記事項について	55 58	平成24年度から計画されている「子ども学科」での資格の検討されているようですが、それはどのような背景からですか。	結果として保育士・幼稚園教諭の資格を取得でない学生、もしくは望まない学生にも、卒業の際には何かしらの資格を持つことにより自信を持って社会に出て行ってほしいと考えているからです。それは建学の精神に基づき「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」に繋がる教育だと思うからです。
40			他学科では検討されている資格はありますか。	健康福祉学科で、アニマルセラピー、ドックセラピスト等を考えています。

V 学生支援

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
41	V-1 入学に関する支援 について	61	入試広報課は5名体制と なっていますが、この5 名の職員の方は他の業務 をしていないのですか。	短大の入試担当のみで、兼務はありません。
42		61	自己推薦入試とはどのよ うな入試ですか。 特別推薦入試とはどのよ うな入試ですか。	自己推薦は自己PRを中心に評価しま す。特別推薦はスポーツ、資格、ボラ ンティアなどを中心に評価していま す。
43		61	AO 課題学習は誰がどの ように評価なさるのです か。 それぞれの入学割合はど のようになっているので すか。差し障りのない程 度に教えて戴きませんか でしょうか。	学科が課題を出し、学科が評価してい ます。 全体の3割程度がAO入試で入学して います。
44		61	AO 入試合格者への課題 はどのような課題です か。 学生たちが企画・制作す る「入試広報通信」の内 容は具体的にはどのよう なものですか。可能な限 り教えていただききたい のですが、どうでしょう か。また、どのような学 生たちが作るのですか。	学生目線で作成しますが、今はたち切 れ状態になっています。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
45	V-1 入学に関する支援 について	62	総合ビジネス学科では「称号」の説明をされていますが、各学科の「学位」についての説明は行っておられますか。	特に行っていません。今後、行ってきたいと思っています。
46	V-2 学習支援について	63	履修登録は Semesterごと に実施するのですか。 1年生の基礎ゼミなど担 当はどのように決められ るのですか。	各 Semester開始前には決定して います。
47		63	個別指導等はどの時間帯 で実施されているのです か。	放課後または空き時間に行いま す。検 定指導や実習の記録指導などが多 く なされています。
48		64	カウンセラーの勤務時間 はどうなっていますか。	木曜日 4 時間。相談に来る学生は 2~3 人です。
49	V-3 学生生活支援体制 について	66	保健室の職員体制はどの ようになっていますか。	養護教諭を配置しています。 今後は、保健センターを考えていま す。
50		66 67	カウンセラーと精神科医 との連携はありますか。	必要に応じてクリニックを紹介した りして、連携を取り合っています。
51	V-4 進路支援について	69 70	就職試験対策の講座など は開かれていますか。	ゼミの後で行っています。
52		71	進学希望者の内、実際に 進学するのは何割程度で すか。	進学希望者は全員が進学しています。 現在、名古屋産業大学への進学は留 学 生 の み の 状 況 で す。

相互評価質疑応答票
 質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
53	V-5	71	留学生のための日本語教育の授業はありますか。	授業はありませんが、ゼミ教員が対応しています。
54	多様な学生に対する支援について	71	社会人は、現在1名ということですが、過去の実績はどうですか。	一般入試で社会人が入学したことはありましたが、社会人入試で入学した者は1名のみです。
55		72	「絆プロジェクト」の具体的な内容を教えてください。	年2回、基礎ゼミの時間にビーチバレー、ボーリング、バーベキューなど学科別でおこなっています。 一人2,000円程度の予算です。
56	V-6 特記事項について	72	「菊武学園」学園長賞の選考方法と基準はどのようなものですか。	学科別に成績優秀者を入学式場で表彰します。副賞は一人30,000円です。

VI 研究

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
57	VI-1 教員の研究活動全般について	73	多くの教員が研究業績を蓄積されておられますが、一部の教員にほとんど研究業績が見当たりませんが、何か理由があるのですか。	特任教授の先生方などです。
58		74	21年度に採択された科研費のテーマはどのようなものですか。少し説明をお願いします。	学長の研究で、虐待に関するものでした。
59	VI-2 研究のための条件	75	研究経費の額について教員の意見はどうですか。また、支給方法は経費か手当か、どちらでしょうか。	特に意見はありません。 支給方法は経費としています。
		75	紀要以外の短大「学会」の活動について教えてください。査読者はどのような人が担当されているのですか。	紀要発行のみです。 学内で研究テーマに応じて委員会から依頼します。
60	について	76	パソコン購入は研究費で購入ですか。あるいは別経費ですか。	別ですが、平成22年度からは研究費となっています。
61		76	子ども学科では心理実験室でどのような内容の授業をするのですか。少し、その内容を教えてください。	発達心理学の授業などです。実験装置は名古屋産業大学の教員のものです。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
62	VI-2 研究のための条件 について	76	総合ビジネスのコース内容に沿った実習室とは、どのような教室でしょうか。	キャリア秘書コースは、オフィスを模した専門実習室、医療コースではパソコン 24 台に医療診療報酬等のソフトや教育用電子カルテソフトが入っています。医療機関の受付、応対窓口業務のシミュレーションができます。
63		76	研究時間の確保は保障されていますが、授業コマ数の少ない教員も「勤務日は週4日を下回らない」ことになっていますか。	特任教授などは2～3日です。週7コマを越えると手当を出すことになっています。

VII 社会的活動

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
64	VII-1 社会的活動への取り組みについて	79 80	地域住民のニーズと公開講座の年間開催件数とのバランスはいかがお考えですか。	ワープロ、英語、砂漠問題など。年々回数が増えています。
65		80	高大連携の事業はありますか。ありましたらそのような内容か教えてください。	健康福祉学科は、姉妹校(菊華高校)に教員が出向き授業を行っていますが、短大全体として現在、具体的に授業での連携は行っていません。
66		80	ほぼ毎年公開講座に参加する方はどの程度ありますか。 また、「公開講座」の企画及び内容の決定方法はどのようにされていますか。 講座終了後のアンケート調査を実施されていますか。	一部に毎年続けて参加する人がいます。アンケートも実施して、ニーズを調べています。
67		80	尾張旭市の「長寿学園」の受講者を1日大学生としての体験学習(生涯学習課関連事業)に取り組んでおられますが、実際、学生との交流の場はありますか。できれば、「長寿学園」の内容と対象をもう少し詳しく教えてください。	パソコン教室や健康体操などですが、交流としては、学生2名が30名の受講者とともにバルーンアートなどを行っています。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
68	VII-2 学生の社会活動について	80 81	総合ビジネス学科ではボランティアの組織的な活動はありますか。 ボランティア活動の評価の仕方、位置づけ、応援態勢はどうなっていますか。	組織的な活動はありませんが、ボランティア論の授業の中で行っています。
69	VII-3 国際交流・協力への取組みについて	81	国際交流・協力に際しての許可基準はどのようになっていますか。特に出張する人の順番などは決まっているのですか。	特に決めてはいませんが、申請の都度、審議しています。
70		84	中国内モンゴル自治区の植林ボランティアは毎年何人くらいの学生が参加するのですか。	名古屋産業大の学生数名と教員が参加しており、今のところ短大からの参加はありません。
71	VII-4 特記事項について	84	平成 21 年度文部科学省「学生支援推進プログラム」で採択された「海外教育プログラム」の内容を教えてください。	台湾・ハンガリー・韓国研修での多文化交流を中心に、名古屋産業大学と共同で取り組んでいます。

Ⅷ 管理運営

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
72	Ⅷ－1 法人の組織の管理 運営体制について	85	「所属長懇談会」の内容はどのようなものですか。差支えない程度で教えてください。	月1回開催しています。懇談の内容は理事会に報告しています。
73		89	常任監事の職種・所属・普段の業務はどのようなことですか。 普段はどのような仕事をなさっておられるのですか。	法人本部で学校経営に関する情報収集等を行っています。前職員が就任しています。
74		93	学長・教員等の選考は短大独自で選考されるのですか。	基本的に短大独自で選考しています。但し、学長選考については教授会の意見を求めた後、理事長が決定します。
75		94	大学運営の意思決定はどのような方法で決定されるのですか。	教授会等の組織を通してしかるべき場所へ諮っています。
76		94	外部者の意見を取り入れるシステムは何かありますか。 ありましたら可能な限り教えてください。	外部理事等役員より意見をいただき、研修会等に参加し、情報交換を行うなど広く意見を取り入れています。
77	Ⅷ－2 教授会等の運営体制について	94	事務局側はどのような立場で教授会等に参加されているのですか。	指名のあった課長以上の事務職員が参与として出席しています。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
78	VII-3 事務組織について	97 98	法人全体の事務組織図と名古屋経営短期大学運営組織図との整合性が一部ありません<各部署の配置人員数 人数不明>これはどのように解釈すればよいのでしょうか。	標記を分かりやすく改めるようにいたします。
79		102	事務組織の整備および情報機器の整備に関して「スパムメール対策」はどのようになさっておりますか。	ファイヤーウォールでウイルスメールと同時に駆除しています。
80		102	事務職員の学生からの信頼度はどのように確認してみえますか。	投書箱を設置していますが、あまり苦情等の投書はありません。学生が気軽に相談に来ることから、教員が身近で頼りにされていると考えています。
81		102	SD は定期的実施されておりますか。その手法として、横断的遂行についての実施策はされておられますか。 また、PDCA のスパイラルアップ効果について事務局自らの自発性についてはどのように省察させておられますか。 組織活性化と人材の積極的活用のための研修制度など、改革はどのような計画で進めていかれる予定ですか。	本部が主催する研修会への参加、および学内独自の研修を行っています。 また、OJT を継続的に実施していますが、不定期なため今後は定期的に行いたいと考えています。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
82	VII-4 人事管理について	104	学校法人は教職員の就業に関する規定で、何か親睦、意見交換の場を設定してみえますか。	歓送迎会や旅行のほか定まった催しはなく、月1回程度教職員で食事会を実施し親睦を深めています。

IX 財務

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
83	IX-1 財務運営について	107	赤字対策はどのようにされていますか。また、学生確保の策はどのように考えておられるのですか。差支えない程度にお聞かせください。 寄附増加の要因はどのようなことからですか。	平成 25 年度までに学園財政を確保する経営上必要な学生数を示してあります。 寄付金は、外郭団体からの寄附であり、寄附募集は実施していません。
84		108	予算の各部所への伝達及び署予算の策定期間はいつ頃ですか。また、出納業務の流れ図に学長決裁がないのはどのようなことからですか。	四大・短大については、経理に関する権限が事務局長に委譲されています。
85		89	監査法人の監査に監事が立ち会っているとのことですが、監事会に会計士も同席されておられるのですか。	会計士が行う決算監査時に監事が同席しています。
86	IX-2 財務体質の健全性と教育研究費について	110	消費収支で短大の翌年度消費支出超過額の是正について。 理由を把握されておられますか。	人件費の見直しを検討しています。
87		110	配分方法は、積上予算か割当予算ですか。	予算配分は割当算としており、その範囲内で執行しています。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
88	IX-2 財務体質の健全性と教育研究費について	110	定員の充足により財源を確保し、健全な運営方策についてどのように考えておられますか。 子ども学科の低下、健康福祉学科の増加および入学定員 255 名の理由はどのようなことからですか。	これまでの改変等の経緯により現在の定員数となっています。現在は未だその過渡期であり、今後整理をしていく予定です。
89	IX-3 施設設備の管理について	111	コンピュータシステム等によるセキュリティー警備は 24 時間体制ですか。再度の質問になりますが、地球環境保全に関する ISO14001 の取り組みの詳細についてもう少し教えてください。	職員の勤務時間外となる 17 時以降朝の 9 時まで配置しています。なお、内部からは退出できるが、外部から入館できない体制をとっています。 学生のプリンター使用については、300 枚から 400 枚で制限を設けています。なお、カラーはモノクロの 4 倍計算としています。

X 改革・改善

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
90	X-1 自己点検・評価について	113	自己点検・評価委員会のメンバー構成を教えてください。具体的に、例えば各学科から何名ずつか、どのような立場の人がいるか、などです。	委員長は学長による指名です。各学科（委員長含め）から2名ずつ（3学科）に、総務課長1名を加えて都合7名となっています。
91			FD委員会のメンバー構成についても同様に教えてください。こちらも各学科から選出されているのですか。職員はどのように参加されるのですか。その規程はありますか。	第三者評価以降、FD委員会ができました。 自己点検・評価委員会の中にFD委員会があり、自己点検・評価委員がFD委員も兼ねており、現状は分かれておりません。事務方とも連携して、FD活動を進めています。よって、FD委員会としての規程はありません。
92		113	前回、平成15～17年度のまとめとして平成18年度に第三者評価を受けられました。今回の相互評価は、平成19～21年度の3年間、第三者評価は平成22～24年度をまとめて平成25年度第三者評価というスケジュールだと思います。そうすると、平成18年度の振り返り、まとめがないように思いますがどうでしょうか。	おっしゃるとおりです。 前回の第三者評価について各部署へ改善内容を振ってそれぞれの部署では整理されていると思いますが、ご指摘の通り、全体としての書きものにはなっておりません。スケジュールでいくと第三者評価を7年後に受けるためには、今年が最後の相互評価となります。 平成18年度は、相手校との調整がつかず抜けております。

相互評価質疑応答票

質問校【高田短期大学】 回答校【名古屋経営短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
93	X-2 自己点検・評価の教職員の関与と活用について	113	委員以外のメンバーは自己点検・評価活動にどのように参画されていますか。	自己点検・評価報告書を作成するにあたって、報告書のマニュアルに従い、該当箇所を各部署の課長に依頼しています。それによって、短大内の全ての部署が関わる形となっています。
94	X-3 相互評価や外部評価等について	114	ALO 選任の手続きとは、どのような内容ですか。	総務課に短期大学基準協会から毎年求められる ALO 報告のため、学長と話し合いの上選任します。 一応のルールができていて、明文化はされていません。
95	X-4 第三者評価（認証評価）について	114	1) 相互評価、第三者評価実施のための規程はありますか。あるのであれば、その内容はどのようなものですか。 2) 自己点検・評価委員会と FD 委員会をどのように棲み分けていますか。棲み分けがされているのであれば、お互い連携はどのようにされていますか。	ありません。 貴校の規定をぜひ参考にさせていただきたいです。 自己点検・評価委員会の中に FD 担当者があり、その委員を中心に推進しています。

I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】

回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
1	I-1 建学の精神、教育理念について	6	建学の理念として「仏教精神に基づく人間教育、やわらか心」とありますが、仏教精神に対する学生の理解や認識はどのようところで具現化されているのか、また、その評価はどのようにされていますか。	今までは仏教行事として年4回、今年からは1年生必修科目として「仏教学」(週1コマ)と連動して組み入れ、その中で「柔軟な心」を説いています。そのため、1年生は仏教行事の出席率は90%以上です。2年生は任意出席ながらも、50~85%出席となっており、仏教に接する新鮮さとある種のカルチャーショックもあろうと思われそうですが、心の芽になっていると考えます。就職先の雇用主からは、傾聴力や協調性という点で評価を受けています。

II 教育の内容

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
2	II-1 教育課程について	10	学則第19条で定めていらっしゃる演習15～30時間で1単位ですが、2単位と1単位を認定している違いについて。	厚労省の規定に基づき、演習か講義かその内容によって教授会で認定しています。演習は基本30時間2単位、15時間1単位です。教科の内容と定期的なこと、時間割編成等を考えて単位数を決めています。
3		10	子ども学科のカリキュラム「体育（講義）」の単位は記入なく、「体育（実技）2単位」と掲載されていますが、学生便覧と単位数が違っていますがどちらが正しいでしょうか。	表記を分けたが、合わせて2単位（各1単位）です。
		12	人間介護福祉学科の「仏教学Ⅰ」とオフィス情報学科の「基礎英語Ⅰ」の単位も空白になっています。	各2単位、1単位です。
4		10～16	子ども学科とオフィス人材育成学科でゼミナールの単位数が違うのは、どのような理由ですか。また、人間介護福祉学科では、ゼミナールは開講しているのですか。	子ども学科と福祉学科は厚労省の規定により演習2単位ですが、オフィス学科は半期1回/週として1単位です。 「人間福祉基礎演習」と「人間福祉総合演習」がそれに該当します。
5		14	オフィス情報学科は英語関連6単位以上必修とありますが、学生のモチベーションはどうですか。	ゆとり教育による影響か実力低下があり、学生の力に応じて習熟度別授業をおこなって、実践力を養うようにしています。
6		14	人間介護福祉学科のレクリエーションでの現場実習における履修人数（クラス数）の正しい数を教えてください。	21です。

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
7	Ⅱ-1 教育課程について	14 ～ 15	5名以下の受講生でも科目を開講している理由は。選択科目の場合、閉講はあるのでしょうか。	専任教員が行うことを前提として、小人数でも教授会で認められれば開講しています。基本的には10名が目安です。
8		15	ケース・メソッドとは。	職場で起こる人間問題について、様々な考えや判断、意見を持ち寄って討議し、自らの意思決定を再構築して発表する科目です。
9		16	子ども学科のカリキュラムのスリム化によって告示科目第2表はほとんど必修科目となっていて選択の余地がないように思われますが、学生の選択する余地を残すべきではないでしょうか。また、専任教員のバランスある教育の充実化とはどのような意味ですか。	演習30時間2単位で修正して、時間割上すっきりさせました。運用上の問題であり、仏教保育などカットし他教科に吸収合併させる形としたためです。 専任教員間で、持ちコマ等の偏りが生じることなくバランス良くすることが望ましいと云う意味でもあります。
10		16	コンピュータ簿記Ⅰ・Ⅱは新設科目ですか。	はい、そのため平成22年度の受講生はありません。
11		17	資格検定の申し込み・受験料などの手順、窓口について教えてください。	専任教員が授業内で案内し、事務局で申し込み等をおこなっています。
12		18	子ども学科の1年次に「ソーシャルマナー」を学ぶとありますが、カリキュラム表には記載がないようです。どのような位置づけで展開されているのですか。	平成22年度まで開講しましたが、カリキュラムのスリム化によって他科目に吸収されました。

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
13	Ⅱ－1 教育課程について	19	保育専門演習を新設とありますが、教育課程表に記載がありません。どのような取扱なのですか。	平成 23 年度からゼミナールに移行させました。
14	Ⅱ－2 授業内容・教育方針について	20	子ども学科では資格無しでの卒業が可能とありますが、人間介護福祉学科では資格無しでの卒業は認めているのでしょうか。	平成 21 年度から可能となっていますが、極力そのようにならないよう指導しています。しかし、実習は卒業必修ではありません。
15	Ⅱ－3 教育改善の努力について	20	学生の学習意欲の低下が各大学で問題となっているように思われますが、貴校ではどのような対策をとられているのでしょうか。	子ども学科では単位には含まない見学実習を実施して関心を持たせる工夫や、自主的ボランティアを推奨し、「子ども発見ノート」などを活用して、対象としての子供に関心を高めるなど工夫を行っています。 また、ゼミを中心として資質向上に努め、研究室の開放、基礎演習・総合演習では学科教員作成による冊子「ゼミテキストⅠ・Ⅱ」を使用し、原稿用紙 15 枚程度以上の書く力をつけさせたりしています。さらに、精神面のフォローとしてカウンセリング室との連携が欠かせないと考えます。
16		20	平成 21 (2010) 年度どちらが正しいですか。	平成 22 (2010) 年度が正しいです (以下同様)。
17		21	FD への組織的取組状況について、人間介護福祉学科における活動内容のわかる資料があればご提示いただきたいです。 また、年 6 回もの発表は授業内に組み込まれているのでしょうか。	学科教員のための 1 回/2 月 90 分くらいの開催です。 「人間介護福祉学科年報」で活動内容を公表しています。

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
18	Ⅱ－３ 教育改善の努力について	22	スキルアワード制度について。	資格取得の意欲を高める事を目的として、資格取得、検定合格に成果のあった学生を表彰する制度です。スキルアップチャレンジノートを作成し、制度を説明しています。
19	Ⅱ－４ 特記事項について	22	他学科の科目履修は可能ですか。	時間割り上取得できるなら可能です。
20		23	検定のための補習状況はどのようになっていますか。	教員ごとに行っていますが、学生の自主的参加や質問を受け付けるなどの対応をおこなっています。
21		24	インターンシップの受け入れ先はどのように手配されているのでしょうか。	ここ 10 年来実施しており、長年の信頼関係により 20 数社、60 名ほどを引き受けていただいている状況です。「社会体験実習」として 1 年生全員行うよう指導しています。

Ⅲ 教育の実施体制

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
22	Ⅲ－１ 教員組織について	25	専任教員一人当たりの学生数は。	18.5 人です。
23			教員採用は原則公募制となっていますが、この 4 年間に採用された人数・公募件数・公募条件について、どのような手続きを経て情報発信し何校送付されたか、その人事委員会の構成についても教えてください。	原則公募で JREC-IN、本学ホームページ、関係大学、専任教員の自己開拓という手段を取り、人事委員会での選考を経て教授会で決定されます。短大では 4 大への移動などによる場合に生じているかと思われます。
24		27	教員の平均担当コマ数の記載がありますが、担当コマ基準はありますか。	平成 24 年度から、原則年 12 コマ以上と申し合わせました。
25			教員の担当コマ数が非常に多い方が見受けられます。どのような科目の担当で、上限を超えた方への配慮はどのようにされているのでしょうか。	カリキュラムの旧から新への移行により、一部多くなっているという実情があります。 上限を超えての特段の配慮はなく、校務での調整をおこなっています。
26		Ⅲ－２ 教育環境について	30	PC 室を長時間開放しておられますが、この管理は（朝の開錠、夜の PC 電源確認や施錠等）は委託した警備会社が行っているのでしょうか。
27			一般教室用に小型プロジェクター、ノート PC 等は用意しているのですか。	一部の特別な教室のみにあります。
28	31		運動場について、野外の運動、遊び等の指導はどのようにされているのですか。	体育館中心ですが、野外の学苑運動場を使用できるようになっています。

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
29		32	年間図書館予算の設定に基準はあるのですか。 また、平成19～22年度の間に予算の変化はありましたか。	予算の設定基準はなく、学生数の増加に伴い比例配分しています。 全学科共通のものと各学科の学生数による配分があります。
30	Ⅲ－3 図書館・学習資源センターについて	34	図書の貸出状況表で、子ども学科の利用率が他の2学科より極めて高いことについて、単に課題提出が多いからですか。 利用率は4倍～13倍、平均10倍くらいの差があるので、課題提出だけとは考えにくいのですが（実習中の貸出なども関連がある？）。 また、平成20年度1年生の貸出冊数は急に落ち込みがあった原因はどのように分析していますか、平成19年度以前常に同じ状況を維持してきたのでしょうか。	ブックバイキングと称して、実習前に絵本を他者に紹介するという取り組みをおこない、推薦図書としても提示しています。 また、実習中は貸出期間の延長をおこなっています。 貸出冊数は急に落ち込みについては特に、原因を分析はしていません。
31	Ⅲ－4 特記事項について	35	「図書メイト」と「創作コンクール」の取り組みが学生たちの図書館への関心や親しみに役立っていると思われませんが、実際にどのような効果をもたらしているのか、特に注意する点があればご教示願いたいです。	図書メイトは親近感を持つことにつながり関心が高まったと思われます。 創作展は、大学祭に出す予定で表彰もおこない、さらに、壁面デザインという取り組みも現在子ども学科中心に行っていますが、他学科にも広げたいと考えています。

IV 教育目標の達成度と教育の効果

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
32	IV-1 単位認定について	36	本試験の単位修得状況が3学科ともに押し並べて高い、再試験受験数が少ないようですが、どのようにされていますか。	資格取得上の必要性もありますが、専任教員と非常勤教員の情報共有といった連携や、出欠管理システムによる結果と思われます。
33		36 ～ 42	最終評価%の計が100%以外の数字が記載されている科目がありますが、どのような理由で99.3%等になっていますか。	一般科目においては、他大学からの単位認定済みのものもあるため、100%以下になっています。
34		42	卒業単位70単位のところ80単位の履修を指導しているとありますが、何割くらいの学生が80単位を取得するのでしょうか。	おおよそ8割くらいと思われます。特に就職に強い資格等について推奨しているためであると思われます。
35			セメスターごとの履修単位数の上限は設けていますか。	ありません。
36			成績は、直接学生へあるいは保護者へ連絡するのですか。	夏休み中はゼミ担任から配布し、追再試験手続き結果は保護者に年度末に郵送しています。
37	IV-2 授業に対する学生の満足度について	43	学生の満足度を高めるためのFDの取り組みとは。アンケート項目は学科ごとにどの程度違うのですか。	平成21年度～学生満足度調査として3学科共通に、学生生活、教職員、環境などについては2年生の初めにアンケートを実施しています。オフィス情報学科では、教員の研修としてコーチング研修なども実施しています。
38			平成23年導入したGPAにより、受講放棄数は減少したでしょうか、その効果として他にあれば教えてください。	学生が受講の必要性を理解している上、数値2.0以下の学生は問題ありとして事前にアドバイスできることがあると思います。

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
39	IV-2 授業に対する学生の満足度について	43	「学年会議」「学科教員協議会」「学科研究会」などの学内組織の位置づけと役割について。	学科協議会は学科としての会議であり、教授会の後月1回の開催です。
40	IV-3 退学、休学、留年の状況について	44	休学の希望者（前期、又は後期の期間全体）の受付（承認）はいつまでですか。	年度内（新学期開始前）に処理をおこなうこととしています。学期開始後の場合には、学納金を徴収します。
41		子ども学科平成20年度入学生の卒業生数が、括弧書きの理由は何ですか。	留年者があり、本年9月卒業予定です。	
42		ゼミの少人数指導の記述がありますが、基礎ゼミではどのような目的と内容ですか、また、教員一人の担当学生数は何名ですか。	教員が1・2年ゼミを両方持つことで、教員一人当たり学生10名強になり、現在の人数20名から減らすことが可能になりました。	
43	IV-4 資格取得の取り組みについて	46	子ども学科の「社会福祉主事任用資格」の合格率が、他の資格より著しく低いのはなぜですか。 「三科目主事」と呼ばれるほど取得が容易な資格なので、貴学は特別な資格要件、カリキュラム、取得方法を課しているのでしょうか。	合格率でなく、取得率です。
44		46	同じく、人間介護福祉学科の福祉レクリエーションが低い理由は。	同じ理由です。

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
45	IV-4 資格取得の取り組みについて	47	日商簿記検定の3級合格率が、平成21年度2.86%から平成22年度41.93%に飛躍した対策について教えてください。	カリキュラム変更による重点資格対策の結果です。
46	IV-5 学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について	50	専門就職状況について、平成22年度の全体の専門就職比率95%と高い比率であるが、就職に対する特徴的な取り組みについてお聞きします。 また、県内の企業訪問、就職後の企業からのフィードバックなど行き届いているがこの体制を築くのに尽力された点は何ですか。	伝統的取り組みの結果によることと、キャリア支援センター、委員会との連携指導や資格センター全体での努力の結果かと思われます。高短キャンパスネットでの求人情報提供も大きいでしょう。 基本的に各キャリア支援委員へフィードバックし、平成21～22年度GPにより求人開拓職員を置き、キャリアサポーター2名も採用できたことも戦力になっています。
47		51	就職先による卒業生の能力評価について「課題発見力」「計画力」「想像力」等、「考える力」のカテゴリーではかなり厳しい評価だったそうですが、そのことについてどのように対応しているのか、今後どのように対応していくのかお聞かせ下さい。	月2名平均程度の卒業生からの転職相談がありました。平成21年度の卒業生追跡調査で厳しい評価を得ましたが、カリキュラムの見直しや3学科共通科目を作るなどして、学校全体の総合力として強化を図っていきたいと思っています。
48		53	「時代のニーズに対応した更なる保育者養成の発展を期待されている」とありますが、現在のカリキュラムに何か工夫は、今後はどのように対応していく方針でしょうか。	育児文化センターでの活動、特に平成19～20年度GPによる子育て応援隊の活動が大きく、全学的ボランティア強化、ゼミナールを中心とした人づくりなども行っており、人として、社会人として「やわらか心」を持ち合わせた教育を推進したいと考えています。

V 学生支援

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
49	V-2 学習支援について	56	後期選択科目の登録も4月におこなうのですか。	1年前期時に2年分を計画し1年分を登録しています。前期・後期時に修正期間(履修変更期間)を設けています。
50		57	Web上での履修登録はこちらでも導入したいのですが、システム作成は学内開発ですか。	いいえ、外部に委託しました。
51			習熟度別指導は、具体的に何クラスくらいに分けて指導をされているのか、ピアノの実技指導を行う非常勤講師は何名くらいいるのでしょうか。	専任教員3名と、非常勤で14~15名の教員により50名3クラスをレッスン室の数に応じて配分しています。それにより、学生の希望によるコース別対応が可能になりました。
52			人間介護福祉学科の応用的課題とは、授業内で実施しているのですか、進度の遅い学生への対応はどのように行っていますか。	基本的には授業内で、時間外対応もしていますが、今年から一部の実技系科目において、担当教員1名に副担当者1名を加えて対応するようにしています。
53	V-3	60	TJC祭を1月に実施しておられますが、曜日・時間はどのように設定しているのですか。また、一般学生の参加はどれくらいあるのでしょうか。	休日、土曜日・日曜日開催を基本として、毎回70名ほど参加しています。
54	学生生活支援体制について	61	平成21年度から直通バスを無料化したとのことですが、その予算をどのように確保されているのですか。学生駐車場も無料化した背景についてお聞かせ下さい。	学校まで最寄りのJRから徒歩15分、バス停から10分の距離ですが、より一層の利便性から現在バス4台で運行しています。合わせて、学生駐車場も無料としました。年経費の半分ほどは学生からの学納金で賄っています。

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
55	V-3 学生生活支援体制 について	61	貴学介護福祉士就労予定者奨学金制度は、県修学資金制度の終了に伴う措置ですか。 利用者23名(49名中)は約半数に達しており、急に利用者が増えたのは学生募集において、25万円上限とは宣伝したためと思われそうですが、どのような基準で決定されているのですか。	福祉系学生は経済的に厳しい者が多く、県修学資金終了に伴う措置はありません。平成22年度入学生からで、平成21年度入学生荷は支給されていません。基本全員に、年20万円2年間で合計40万円を支援しています。就職義務等は課していません。
56	V-4 進路支援について	65	キャリアカルの閲覧範囲に制限はありますか。	学生の個人情報については、教員は外部からのアクセスのみ不可です。
57	V-5 多様な学生に対する支援について	67	人間介護福祉学科の平成22年42%進学率は突出していますが、その理由について教えてください。 留学生や社会人のためですか。 また、留学生の出身はどちらから、社会人はセーフティネットによる入学生でしょうか。	4大への進学が主で、中国からの留学生がほとんどです。 三重県では、セーフティネットの進学先として短大は該当していないのが現状です。

VI 研究

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
58	VI-1 教員の研究活動全般について	69	採用時に論文数の少ない方（資料では採用時の情報は入っていない）がいますが、採用時の業績、教育経験など何か理由があるのでしょうか。	実績や経験値から評価しています。
59		71	各種プロジェクトが活動しているが、その組織や活動予算はどのようになっていますか。	年度内予算で実施しています。 3年前から研究の活性化のため、学内プロジェクトを募り、15件500万円以内で助成をおこなっています。 また、福祉関連では、県の助成事業や保育士人材バンク等の活動として、外部からの資金を得ています。
60			人間介護福祉学科の年6回の研究会の詳細について聞かせてください。 また、兼任教員との意思疎通について、どのようにされているのでしょうか。	学科で毎年テーマをもって、共同研究しています。 兼任は10名程度と少なく、教員間の関係も深いので意思疎通はとれていると思われま。
61	VI-2 研究のための条件について	71	研究費の支給方法を変更したとありますが、具体的にどのように変わったのでしょうか。 その目的と、それに対する教員の評価はいかがですか。	年30万円（うち、1/3は旅費）を給与に一括振り込み方式に変更し、領収書等添付し使用実績を報告します。但し、振り込むことで10%の所得税がかかりますが、実質その分減額となったのですが、教職員双方の事務手続きを簡素化できたこともメリットです。
62		72	研究紀要、各学科年報など研究論文集の印刷予算、各学科の研究センター予算について支障のない範囲で教えてください。	短大予算として位置付けられています。

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
63	VI-2 研究のための条件 について	72	研究室は助教・講師の区別なく全教員に準備されているのですか。	すべて個室です。
64		73	学科年報と育児文化研究(紀要)、大学紀要との関連について、教員は3つの論文集にすべて投稿できるようになっていますか。 投稿数などの実態や投稿上の課題点など何かあれば教えてください。また、査読や研究倫理規定はあるのでしょうか。	すべてに投稿できます。査読は紀要のみで、現在のところ倫理規定はありませんが、近く作る予定です。

Ⅶ 社会的活動

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
65	Ⅶ-1 社会的活動への取組みについて	74	添付資料 No. 5の「科目等履修生」には選考基準が明確に記載されていませんが、貴学での基準はどうなっていますか。	選考基準はなく、教授会で認めています。 仏教学・思想歴史科目に関しては、住職の資格取得のためであることが多いです。
66		75	育児文化研究センターの出前講座が回数・受講者数で大変多いにもかかわらず平成21年で終了した理由は何ですか。	平成16年からセンターに客員研究員を採用し、多数開講してきたのですが、教員の負担も大きい上、センターの知名度も高まったので、5年で区切りとしました。
67			「福祉・介護サービスチャレンジ教室」とは、県人材確保事業の一環ですか。学科運営プロジェクトに関する資料等あれば、ご提示願います。	県の助成事業の一環であり、人間介護福祉学科年報の中に報告として記載してあります。
68	Ⅶ-2 学生の社会活動について	77	子ども学科におけるボランティアの取り組みに関して、ボランティア実施にあたり事前・事後にどのような指導を行っているのですか。	総合演習内で、ボランティア支援室より講義をおこなっています。
69			人間介護福祉学科のボランティア参加数も多いが、授業に位置付けられての参加ですか。その活動内容は何かですか。	授業や学科運営プロジェクトとの関連で、あるいは施設との連携として、年1~2回で、単発でも参加させています。また、実習施設からも依頼が来ることもあります。
70			教員の海外派遣・国際会議出席等について、その渡航費用は教員が獲得した外部研究費ですか。大学で個人研究費とは別枠の研究費が設定されているものなのかお聞かせ下さい。	あくまで、科研費等の教員個人としての助成金によるもので、別枠はありません。

Ⅷ 管理運営

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
71	Ⅷ－1 法人の組織の管理運営体制について	80	毎年度5月末に理事会が開催されているが、資産総額の変更登記及び財務書類等の備付けはどのようになされていますか。	事前準備の後、理事会終了後手続きしています。
72		83	貴学における重要事項については運営会議に諮るとのこと、どのような流れで決定されますか。	運営会議、教授会の承認を経て、理事会という流れです。 学則などは理事会議決事項で扱います。
73			監事の業務執行状況の中で、上半期、下半期に寄附行為上の監査を行うとのこと、どのように実施されておられますか。	理事会前に監事会を開催し、上半期（11月）監事会において事業報告、下半期計画などを提示しています。 平成23年度からは内部監査室を設置し、委員を法人及び卒業生OBから登用して、監事、公認会計士と連携した監査体制をとっています。
74			同じく監事は理事会へ参加されたとのことですが、理事会で意見を具申されたのでしょうか。	毎回、理事会に出席して、監査報告をしています。
75			平成22年度の評議員会の開催状況において、諸規程の制定及び一部改正については評議員会の諮問事項として取り扱われていませんが、評議員会の意見はいつお聴きになられますか。	規程の改正については規定されていないので諮問していません。 なお、一部の評議員は理事と重複しているため、把握して載っています。 従って、決算時期は計算書類について理事会の前に意見を聴いています。
76	Ⅶ－3 事務組織について	90	その他では学務課とあり、組織表では教務課、学生課とあります。広報入試課も入試広報課とどちらが正しいですか。	平成23年から組織変更したためです。学務課が、教務課と学生課に分かれました。

相互評価質疑応答票
 質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
77	VII-3 事務組織について	92	事務局の学生対応時間および土曜日の対応はどのようになさっていますか。	対応時間は8:30~17:30です。土曜日は基本休みであり、補講等も土曜には行っていませんが、特段必要が生じていないと感じています。また、研究室は直通電話で、外部からの電話を自宅や携帯等に転送できるようになっているため、事務局として実習等対応も土曜日はありません。平日での対応は、実習担当教員等の他、教務課で実習担当職員もおり、対応はしています。
78		94	事務職員の年齢構成について。	30~40歳台が中心です。
79			事務職員の雇用契約について(正規職員、嘱託、パート、その他)お聞かせ下さい。	基本正規職員として雇用し、現在嘱託職員が1名です。週3日勤務のキャリアサポーターが2名、育児文化研究センターにも3名のスタッフを置いています。他は全員常勤職員です。
80			事務職員の役職手当について(例:課長手当の額)。	課長手当5千円、課長補佐が3千円です。
81			時間外勤務手当制度について教えてください。	8:30~17:30の勤務時間で、5限目終了すると18時になりますが、それ以上の残業については課長決裁を必要とします。そのため、基本的には時間外手当はなく、会議も最大2時間までとしています。
82	VII-4 人事管理について	95	教職員の就業時間の管理の方法はどのようになっていますか。	教員は裁量制雇用形態を採用しており、基本的に週4日勤務で押印方式です。出勤時に出勤簿に押印し、出勤確認をしています。

IX 財務

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
83	IX-2 財務体質の健全性と教育研究費について	95	流動資産より流動負債が倍近く多くなっているのは、雑収入からの補填と考えてよいでしょうか。	借入金を固定資産から流動資産へ振り替えたためです。よって、雑収入とは関係はありません。

X 改革・改善

相互評価質疑応答票

質問校【名古屋経営短期大学】 回答校【高田短期大学】

質問番号	報告書該当項目	頁	質問事項	回答
84	X-1 自己点検・評価について	102	評価結果の開示及びその改善策が各学科・委員会でどのように話し合われ、また実施されているのですか。	年次報告ののち、3～4年毎に自己点検をおこない、ホームページや報告書にまとめて関係各所に配布しています。
85		106	定員割れが起きている学科における定員確保での、貴学が取り組んでいる具体的な策があれば教えていただけますか。	就職先の条件も重要ですが、独自の奨学金制度や年報配布、ボランティア等の学校の宣伝が考えられます。介護を取り巻く状況にも問題があるため、国等への訴えも必要であると思われ、一短大での限界もあるかと考えます。
86	X-4 第三者評価（認証評価）について	107	平成21年から導入された教員評価について、点数化による数値の項目、配点、評価方法などを教えてください。また、FDとしての授業評価に加え、教員自身の評価導入に関する意見や導入後の変化等がありますか。	2年前から委員会を立ち上げ、評価方法、評価項目等について検討してきました。その評価項目として、教育4・研究2・校務2・社会貢献2の割合で評価をポイント化しています。設定した評価項目以外に、各領域ともに評価できる項目を追加できるようにしています。その評価をもとに学長と面談します。授業評価や学科ごとの教員負担度、貢献度をどのように評価すべきかわからないという声もあり、自己評価に個人差が生じているのも事実です。今後は、学生による授業評価の学生の到達度の評価を反映させるなどして、適正化に努めたいと考えています。

6. 相互評価会議

第1回 相互評価会議

1. 日 時:平成 22(2010)年 9 月 14 日(火) 10:00～17:00
2. 会 場:名古屋経営短期大学
3. 出席者(高田短期大学)

役職名	氏 名	備 考
自己点検・評価委員長	三宅 啓子	子ども学科教授
人間介護福祉学科長	千草 篤磨	人間介護福祉学科教授
オフィス情報学科長	鷺尾 敦	オフィス情報学科教授
事務局次長兼総務課長	藤井 徳雄	

出席者(名古屋経営短期大学)

役職名	氏 名	備 考
短大学長	古橋エツ子	健康福祉学科教授
総合ビジネス学科長	片野田浩子	総合ビジネス学科教授
子ども学科長	平岩 定法(代)	子ども学科教授
健康福祉学科長	志水 暎子	健康福祉学科教授
短大・大学事務局長	青木修	
自己評価委員長	上田 智子	健康福祉学科准教授
ALO・教務委員長	西川三恵子	総合ビジネス学科教授
総務課長	萩原満	
教務統括課長	近藤真	
教務短大課長	後藤康文	

4. 高田短期大学訪問日程

時間	予定	場所
10:00	本学到着	1号館応接室
10:10 (10分)	理事長挨拶	2階会議室
	学長、各学科長等担当者紹介	
10:20～12:30(120分)	相互評価会議;0～Ⅲ分野、Ⅳ～Ⅶ分野	
12:30～13:30(60分)	昼食・休憩	1階応接室
13:30～14:15(45分)	相互評価会議;Ⅷ～Ⅹ分野	2階会議室
14:25～15:25(60分)	学内視察	
15:40～16:20(40分)	相互評価会議;ディスカッション	2階会議室
16:40～17:00(20分)	総括	2階会議室

5. 施設見学(説明:高木清秀理事)

学内視察箇所 (14:25~15:25)	
視察部署	場所
会議室スタート	2号館3階
パソコン教室	2号館4階
キャリア支援課	1号館3階
学生課	
教務課	
音楽室	文化センター2階
大ホール	文化センター3階
図書館	文化センター1階
タイプライター展示	
学生ホール、売店	1号館1階
インフォメーションホール	1号館2階
前庭~カフェテラス	
4号館保健室	4号館
食堂、体育館	



第2回 相互評価会議

1. 日 時:平成 23(2011)年 9 月 14 日(水)10:00～17:00
2. 会 場:高田短期大学
3. 出席者(名古屋経営短期大学)

役職名	氏 名	備 考
自己点検評価委員長	上田 智子	健康福祉学科准教授
総合ビジネス学科長	片野田浩子	総合ビジネス学科教授
子ども学科長	穂丸 武臣	子ども学科教授
健康福祉学科長	志水 暎子	健康福祉学科教授
総務課長	萩原 満	

4. 出席者(高田短期大学)

役職名	氏 名	備 考
理事長 ・ 学苑長	高臣 文祥	
短期大学学長	栗原 廣海	
自己点検・評価委員長	三宅 啓子	子ども学科教授
子ども学科長	山崎 征子	子ども学科教授
人間介護福祉学科長	千草 篤麿	人間介護福祉学科教授
オフィス情報学科長	鷺尾 敦	オフィス人材育成学科教授
図書館長・図書委員長	畠山 義啓	オフィス情報(人材育成)学科教授
育児文化研究センター長	福西 朋子	子ども学科教授
仏教文化研究センター長	采翠 真澄	子ども学科教授
学務委員長	高木 直人	オフィス情報(人材育成)学科教授
入試・広報委員長	宮崎つた子	子ども学科教授
キャリア支援委員長	佐藤 完	人間介護福祉学科教授
学長補佐	鼎 龍教	
事務局長・学苑本部事務局長	河北 浩峰	
教学部長	伊藤 茂一	
キャリア支援センター長	澤井 光次	
事務局次長兼総務課長	藤井 徳雄	
教務課長	金丸 博文	
学生課長	北川 裕之	

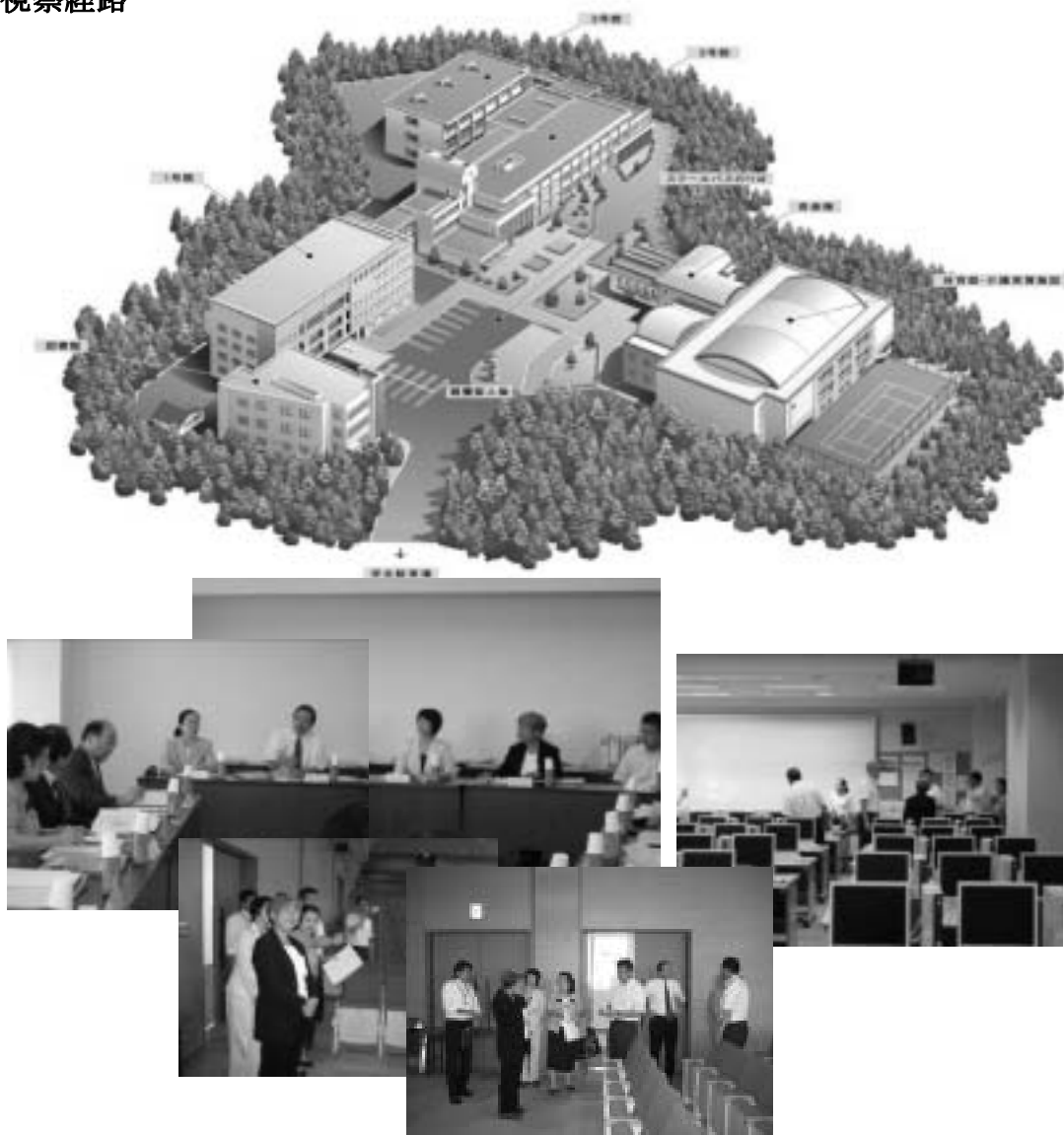
5. 高田短期大学訪問日程

時間	予定	場所
9:15	本学到着	1号館応接室
9:25(10分)	理事長挨拶、	4階会議室
	学長、各学科長等担当者紹介	
9:35～11:05(90分)	相互評価会議;0～Ⅲ分野、	
11:05～11:15(10分)	休憩	
11:15～12:35(80分)	相互評価会議;Ⅳ～Ⅶ分野	
12:35～13:35(60分)	昼食・休憩	1階会議室
13:35～14:35(60分)	相互評価会議;Ⅷ～Ⅹ分野	4階会議室
14:45～15:35(50分)	学内視察	
15:50～16:30(40分)	相互評価会議;ディスカッション	4階会議室
16:40～17:00(20分)	総括	4階会議室

6. 施設見学(同行者:学長、学長補佐、自己点検委員長、学科長、センター長)

学内視察箇所 (14:45～15:35)		
視察部署		場所
1	講堂	1号館4階
2	造形演習室	1号館3階
3	普通教室(131教室)	
4	育児文化室	1号館2階
5	研究室(120研究室)	
6	大講義室	2号館2階
7	普通教室	
8	カウンセリング室	
9	プレゼンテーション室	3号館3階
10	オフィス演習室	
11	オフィス実務室	
12	PC I 室	3号館1階
13,14	食堂・保健室・静養室	2号館1階
15	キャリア支援室	
16	体育館アリーナ	体育館2階
17,18	介護実習室・入浴実習室	介護実習施設1階
19,20	電子楽器室・レッスン室	音楽棟3階・音楽棟2階
21,22	図書館多目的ホール・閲覧室	図書館1・2階
23	事務室	1号館1階

学内視察経路



- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|---------|
| 1. 1号館4階 | 講堂 | 13. 2号館1階 | 食堂 |
| 2. 1号館3階 | 造形演習室 | 14. 2号館1階 | 保健室・静養室 |
| 3. 1号館3階 | 普通教室（131教室） | 15. 2号館1階 | キャリア支援室 |
| 4. 1号館2階 | 育児文化室 | 16. 体育館2階 | アリーナ |
| 5. 1号館2階 | 120研究室 | 17. 介護実習指導室 | 介護実習室 |
| 6. 2号館2階 | 大講義室 | 18. 介護実習指導室 | 入浴実習室 |
| 7. 2号館2階 | 普通教室（223教室） | 19. 音楽棟3階 | 電子楽器室 |
| 8. 2号館2階 | カウンセリング室 | 20. 音楽棟2階 | レッスン室 |
| 9. 3号館3階 | プレゼンテーション室 | 21. 図書館1階 | 多目的ホール |
| 10. 3号館3階 | オフィス演習室 | 22. 図書館2階 | 開架閲覧室 |
| 11. 3号館3階 | オフィス実務室 | 23. 1号館1階 | 事務局 |
| 12. 3号館1階 | PC教室I | | |

7. 相互評価 評価票

評価領域 I 「建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標」

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
I-1. 建学の精神・ 教育理念・教 育目的・教育 目標	評価 できる 点	学園創立の礎である「愛情教育」に則って、建学の精神「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」が開学以来受け継がれており、その精神と教育理念を「名古屋経営短期大学憲章」として制定して学内外に明示していることは高く評価できる。	寛保元(1741)年から真宗高田派の学寮での講義開始以来、高田学苑の歴史は古く、「仏教精神に基づく人間教育」を掲げており、その教育理念としての『やわらか心』を教育の基軸とし、「学生便覧」をはじめカリキュラム、仏教行事、各種研修会等年間を通して、全学生や教職員に浸透を図っている点で学苑としての共通理念の形成に努力されている上、建学の精神・教育理念を理解してもらうことに重点をおいている点は評価できる。
	今後 の課 題	学位を重要視し、学士力育成を念頭に、短期大学士としての学位授与方針としての目標を明確に示すことが必要と思われる。	特になし。

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
I-2. 教育目的・教育目標が明確で点検の努力がみられること	<p>各学科とも、多様化している現代社会において、建学の精神に基づく教育理念を深く共有し、同時に各学科の特色ある教育目的・目標を明確に設定し、教育に全教員が真摯に取り組んでいることが評価できる。</p> <p>また、各学科では、取得できる資格・免許を学生が取得できるように、専任・非常勤も含めた連携サポート体制に力をそそぎ、きめ細かな指導と、常に協議・点検がなされ、平成20年度は、建学の理念・教育の理念・教育の目標の理念を見直し、現状に即した改訂が行われており、点検の努力が認められる。</p> <p>特に健康福祉学科は「『ひと』としてのマナー」10カ条を制定し、非常勤講師も含めた全教員が一丸となって、学生指導にあたらうとしている姿勢は大いに評価できる。</p>	<p>学苑要覧に加え、短大の学生便覧に『やわらか心』の精神が記載されており、自己点検・評価委員会は、各委員会、学科、センター、事務局の長から構成され、毎年年度報告を各部署から行い、3～4年ごとにまとめ点検報告されている。</p> <p>その成果として、各学科とも学生にわかりやすいカリキュラム編成や科目配置を行い、資格取得においても質・量ともに向上していることは、大いに評価できる。</p>
	<p>各学科の教育意識の統一化の努力は頻繁な学科会議等で徹底されているが、他学科間とも共通意識を図る機会と体制がより強化されると、短期大学としての教育体制と目標がさらに明確化されるのではないかと考えられる。</p>	<p>特になし。</p>

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
I-3. 教育目的・教育目標に理解される努力がみられること	評価できる点	<p>教育目的・教育目標を全学的に共通理解し、学生へもその意識を深めるために『名古屋経営短期大学憲章』やホームページに掲載し、入学式や必修科目「ライフプランニング」の中で、学生に理解されるよう努力している点が評価できる。</p> <p>また、教職員間や学生間においても日常のコミュニケーションにおいても、気軽にその考え方を共有できるような学内体制（雰囲気等）を地道に展開されている点が評価できる。</p>	<p>カリキュラムの中の「仏教学」を全学科共通の必修科目として学生が履修している上、年4回の仏教行事を開催し、教職員への各種研修会やコミュニティーカレッジによる公開講座、同窓会活動によって、広く学苑内外への周知徹底がなされている。</p>
	今後の課題	特になし。	特になし。

評価領域Ⅱ 「教育の内容」

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価	
Ⅱ－１． 教育課程が体系的に編成されていること	評価できる点	全体	全体	<p>「仏教学」を全学科共通の必修科目とし学科ごとに関連する資格に基づき必要な科目が配置されている。また、専任科目は取得上必要な場合、5名以下でも開講するなど学生のニーズに最大限こたえる姿勢がみられる。</p>
		総合ビジネス学科	オフィス情報学科	<p>キャリア支援に重点を置いて、日商簿記や TOEIC など資格を効率よく取得できるようにカリキュラムを変更し、その成果が出ている。また、所定以上の単位の取得を卒業要件にまで高めている点が評価できる。</p>
		子ども学科	子ども学科	<p>コミュニケーションを重視したゼミナールや教育課程のスリム化、保育専門課程など新設科目によって、学生にわかりやすい実用的なカリキュラムの作成ができています。</p>

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価	
II-1. 教育課程が体系的に編成されていること	評価できる点	健康福祉学科	介護福祉士養成課程を中心として、それに関連する「アニマルセラピー」「美容法」「リラクゼーション」などの教養的、応用的な科目で体系的に編成されている点が評価できる。	人間介護福祉学科	資格取得に必要な科目に加え、福祉レクリエーションなどの実用的な選択科目を要している点が評価できる。
	今後の課題	総合ビジネス学科	学士力と専門学校教育との違いを明確に明示して、短期大学ならではの教育に関すること、たとえば、目指す教育と単位認定の考え方などについて広く広報することが必要ではないかと思われる。	特になし。	
		子ども学科	選択科目の幅を広げて専門性の充実を図ろうと体系的に多くの選択科目を設置し努力しているにも関わらず、受講生の選択率は低いので、専門性と選択支の意味を理解しやすいようなカリキュラム表の工夫（たとえば、学生が分野別の分類を理解し、分かりやすく見やすい提示の方法等の工夫）が必要ではないかと思われる。		
		健康福祉学科	実習生を受け入れる施設の条件にもよるが、「介護実習II」の時間数を介護実習全体の1/3以上になるように「4単位」とすることが必要かと思われる。		

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価	
Ⅱ－２． 教育課程が学 生の多様なニ ーズに応える ものになって いること	評価 できる 点	全 体	全 体	カリキュラムの見直しを毎 年学科ごとにおこない、学生が 教育目標を達成しやすいよう に創意工夫がなされている点 が評価できる。
		総合 ビジネ ス学科	オ フ ィ ス 情 報 学 科	平成 19 (2007) 年から、キャ リア支援強化に基づき必修科 目を減らし、学生の選択の幅を 広げた。日商簿記などは積み上 げ取得できるようになっている 点が評価できる。
		子 ど も 学 科	子 ど も 学 科	平成 22(2010)年から、個別指 導の充実に基づき全体のスリ ム化を図っている。さらに、平 成 23(2011)度の養成課程改正 に向けて見直しをおこなった 点が評価できる。

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価	
Ⅱ-2. 教育課程が学 生の多様なニ ーズに応える ものになって いること	評価 できる 点	健康福祉学科 専門科目は専任教員を中心 に配置し、選択科目は「陶芸体 験」「演劇ワークショップ」「基 礎メイクアップ」などの様々な 分野の兼任講師を配置して、学 生の多様なニーズに応えるも のとなっている点が評価でき る。	人間 介護 福祉 学科	平成 21(2009) 年、厚労省の 養成課程改正に基づき新カリ キュラムへの移行をおこなっ た。さらに、学生にわかりやす く科目名称を変更した点が評 価できる。
	今 後 の 課 題	総合 ビジ ネ ス 学 科		特になし。
		子 ど も 学 科		
		健康 福祉 学 科		

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
II-3. 授業内容、教育方法及び評価方法が学生に明らかにされていること	第三者評価で指摘された後、すぐに対応して FD 委員会を設立した点は改善に対する姿勢として評価できる。また、より良い授業アンケートを目指して、評価の方法をいろいろと試行している点も素晴らしい。その結果、現在授業を受けている学生にフィードバックするために、 10 回目に実施しそのフィードバックがその授業内にできる点、結果が教職員をはじめ学生も閲覧できる点は、大変評価できる。	シラバスは全学科共通の書式で作成され、内容も統一的に記載されている。学生には入学時オリエンテーションにて配布され、履修登録は1年次に2年分を科目登録し、半期終了ごとに修正することができる。コンピュータ登録は、高短キャンパスネットで行うことができ、常に学生の利便性・効率性の向上を図っている。また、 GPA 導入により学生自身による成績や単位取得状況の確認が可能になっており、短大としては先進的取り組みである。
	シラバスの内容に時間外学習や、授業で達成できる到達目標などの記載、および授業を受けるにあたっての準備や事前学習等の情報がなく、全体的に科目についての情報が少ない。科目によるが、授業計画の表現が毎回同じものがあり、具体的に内容がつかめるものに統一すべきと思われる。また、評価方法が示されているが、評価の割合など、より具体的に明示することが望まれる。	特になし。

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価		
Ⅱ－４． 授業内容、教育方法に改善への努力がみられること	評価できる点	全体	<p>学生による授業評価アンケートを実施し、FD委員会と自己点検委員会で検討し改善に取り組むと同時に教員に冊子を配布していることは評価できる。また、各学科が、学科会議で時間をかけて教授方法、教材検討などについて、実質的なFD活動を行っている点も評価できる。</p>	全体	<p>授業評価アンケートは平成16(2004)年から継続実施していたが、平成20(2008)年からは専任以外の非常勤講師にも対象を広げて、徹底している。自己点検評価委員会にFD専門部会を持ち、組織的にFD/SDを推進している。平成18(2006)年からはFD研修会を毎年実施し、教職員全体の意識向上を図っている点が素晴らしい。</p>
		総合ビジネス学科	<p>入学から卒業までの学生の成長過程を一貫した指導とするために、科目別の改善に止まることなく非常勤講師との連携を持ち、学科の協議会等で情報交換しながら指導し教育効果を高めようとしている点が評価できる。</p>	オフィス情報学科	<p>ほぼ全員に「社会体験実習」をさせ、GP採択による「キャリアカルテ」の導入や資格取得支援「スキルアワード」制度による意欲向上をおこなって、毎年着実に改善改革を実施している。</p>
		子ども学科	<p>子ども学科は3年制ということもあって、学生間の学力の差はみられるが、リーダーとなる学生を育てるような学習環境を向上させる改善努力の結果、学生の授業受講姿勢としての学習態度が前向きになり、学習成果は元より、就職率向上にも繋がっていることは、教員としての指導集団体制が功を奏したことであり評価できる。</p> <p>また、ゼミ報を発行し、学習の状況を全学年で共有しているところも評価できる。</p>	子ども学科	<p>GP採択による子育て支援プロジェクトや新カリキュラムの作業過程をFDとして実施している点が評価できる。</p>

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価	
Ⅱ－４． 授業内容、教育方法に改善への努力がみられること	評価できる点	健康福祉学科	定期的に会議をもって、各教員が他の教員の担当科目との関連性を意識しながら教育を行っている点が評価できる。	人間介護福祉学科	学科プロジェクトによる施設や地域との連携や学科研究会での発表を積極的におこなっている点が評価できる。
	今後の課題	総合ビジネス学科	一貫した指導が目に見えて理解できるよう指導に関する仕組みを図式化し、学内外に提示することと、効果が見えるような指標を持つと良いと思われる。	特になし。	
		健康福祉学科	平成 21 年度から卒業要件と資格要件を分離したことは評価できるが、そのことによって介護福祉士資格を取得する学生が減らないように努力することが課題である。		
◇教育の内容についての特記事項	評価できる点	<p>名古屋産業大学との単位互換制度がある点が評価できる。</p> <p>その他、教育環境として、利用可能な自習室を限定し、放課後の利用も教員がいる状況で利用させ、管理を徹底している点は評価できる。</p> <p>研修旅行制度においては、国際的な人材育成をめざして、毎年オーストラリアや東南アジアへの海外研修を実施し、語学力の向上や異文化理解に大きな成果を挙げている。また、子ども学科では、「多文化保育演習」の授業で海外保育研修も実施している。これら一連の取組みは社会のグローバル化に伴う教育推進という観点から評価できる。</p>		全体	子ども学科とオフィス情報学科では一部習熟度別授業を展開し、学生の音楽の素養や出身高校の教育課程に応じた対応をおこなっている。
				オフィス情報学科	インターンシップとして長年の地元企業との関係を構築しており、ほぼ全員が体験学習できる環境が整備されている。
				子ども学科	ピアノレッスンでは、進度別のコース設定を学生自ら選択して受講できるよう配慮している。

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
◇教育の内容 についての特 記事項	今後の 課題	海外研修計画の長期的見通しを持って異文化理解・語学研修・多文化保育の実施計画（実施時期、対象学年も含めて）を綿密化することによって、より目的に見合う効果が期待できるのではないかと考えられる。	人間のところ、学生の能力や習熟度に大きな差はないとしているが、昨今の基礎学力の低下や社会人学生の増加による差などが予想され、習熟度別対応の必要性が高まっているため、個別対応以外にも何らかの工夫が求められると思われる。

人間
介護
福祉
学科

評価領域Ⅲ 「教育の実施体制」

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
Ⅲ－１. 教員組織が整備されていること	評価できる点	多様な学生に対応するために、先生方が一致団結して対応している様子が見られる点は評価できる。	教員数は短大設置基準を満たしており、専任教員一人当たりの学生数 18.5 人と適正である。採用も原則公募制で、教授会申し合わせに基づき行われている。
	今後の課題	高齢者の教員が比較的多い点、継続的に地域の教育を進めていくにあたって課題があると思われる。また、専任教員が短期大学設置基準で定める人数に限定されているので、余裕のある教員人数とすることが課題である。	教員の年齢構成は 40 歳以上で 8 割近くを占め、若手教員の割合を増やすことが求められる。 また、担当コマ基準 12 以上となっているが、数が下回る教員も散見され、全体として統一を図る必要があると思われる。
Ⅲ－２. 教育環境が整・活用されていること	評価できる点	授業コースにあった特別教室が充実しているところは評価できる。また、総合ビジネス学科においては、医療事務などは電子カルテなどの扱いができるようなソフトウェアも導入し、より実践的な教育を進められる環境を用意しているところが評価できる。さらに、PC 教室が多くあり、それぞれの PC を教室ごとに順次更新していく運用形態が計画的に進められていることは評価できる。	設置基準よりも広大な面積を有しゆとりがある。 PC 教室 7:00 から 21:00 まで開放され、ピアノ練習室も午前 9:00 から午後 9:00 まで使用可能で、学生に十分利用できるよう配慮している。 キャンパスネットが構築されており、学外からも出欠・成績・求人などのチェックが可能になっている上、全学生にメールボックスを提供し、学生との連絡に活用されている。 キャリアカルテによる出席管理システムとして、教室ごとに学生証によるチェックができるようになり効率化されている。
	今後の課題	特になし。	特になし。

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
Ⅲ－３． 図書館もしくは センター等 が整備されて いること	評価できる点	図書館の図書選定に当たり、熱心な学生が直接書店に行って選ぶという直接選定作業が行われている点が評価できる。また、学生リクエストの他、学生に直接選定作業を依頼する試みを始められ、学生による選書の仕組みがある点も評価できる。	和書を中心に 4 万冊以上の図書を有し、授業と連動した工夫がなされ図書利用率が高い。また、実習等での長期貸出しもおこなっている。創作コンクール（読書感想文＋絵本、詩、パネルなど）も開催し、年々学生の貸出冊数が増加し大いに活用する工夫がなされている。
	今後の課題	書籍の選定、廃棄の手順は示されているが、それを明文化した規程を整備することが必要と思われる。 更に整備すべきこととして、図書の利用状況を日常的に把握する体制を作り、またその結果を選書等に繋がる流れを構築することが望まれる。	特になし。
◇教育の実施体制についての特記事項	評価できる点	地元の尾張旭市と協定を結び、地域住民に授業を公開している点が評価できる。また、変化の激しい情報に関する情報教育については、情報教育委員会を設置して教育内容や方法について検討していることは評価できる。	子ども学科 「ブックバイキング（絵本の紹介）」という学科独自の取り組みを行い、学生が身近に本に接する機会を作り出している。
	今後の課題	学生および教員のニーズ対応できるように、利用率の低さや高価な購入予算を避けるためにも、近隣の大学図書館との相互貸出の便宜を図る体制作りを促進されることを期待したい。	特になし。

評価領域Ⅳ 「教育の目標の達成と教育の効果」

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価		
IV-1. 教育の達成への 努力がみられること	評価できる点	全体	特になし。	全体	平成 22 (2010) 年から授業評価アンケートを見直し、到達目標に対する満足度に記載方法を改善し、それ以外にも毎年、2 年生に満足度調査を実施し、その内容を反映させている。また、GPA 導入による成績指標により、客観的問題学生の早期発見、授業放棄の減少を可能にした結果、再試率が非常に低くなったことが挙げられる
		総合ビジネス学科	ゼミナールが 1 年毎ではあるが、担当教員が 2 年次が変わるのであれば、就職活動支援に空白が生まれるという理由から、2 年時のゼミナールを 1 年次の 10 月の大学祭の後、選択させている点は、学生の状況を考えた方法で評価できる。また、多様な学生に対するニーズに応えるため、多くの資格取得支援がある点も評価できる。	オフィス情報学科	卒業単位以上の 80 単位取得を推奨し、キャリアカルテを活用した各種資格取得に向けての指導体制が構築されており、日商簿記 3 級合格にその成果が表れている。
		子ども学科	国家資格・教員免許取得に必要な科目が多いために、社会的責任を考慮して学内規程に則り、厳正に評価し対処していることは評価できる。 また、一定の科目の単位不足の学生は実習に参加せず、その後の補習教育を得てから実習参加するという学内的にハードルを設けている点も評価できる。	子ども学科	学生の学習意欲を高めるため、子ども発見ノート、子どもに関する新聞スクラップの活用、付属園で見学実習、保育園ボランティアなどに取り組んでいる。

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価	
IV-1. 教育の達成への 努力がみられること	評価 できる 点	健康福祉学科	平成 21 年度からの新カリキュラム改正の施行時期で、指導も複雑になるが、単位取得指導の結果、退学者等を最小限に止める努力が認められる点が評価できる。	人間介護福祉学科	ほぼ 100%資格取得できており、指導体制の確立が認められる。
	今後の課題	総合ビジネス学科	<p>学生の多様性に対応するため、様々な資格が提示されているが、個々の資格を見ると取得者が少ない点が気になる。資格支援の成果状況、あるいは学生のニーズなど、少ない原因を分析して支援のあり方を検討すべきではないかと思われる。</p> <p>また、1 年次に退学する学生が比較的多くあるが、ケアをどのようにしているのか明示されていない。ケアのあり方、あるいはそのケアが十分に行われたという過程を示す工夫が必要と思われる。</p>	オフィス情報学科	教育課程で取得できる 4 つの資格のうち、2 級メディカルクラークをやめ医療事務管理士に移行したといういうとであるが、平成 23(2011)年度から名称変更したオフィス人材としていかなる資格が求められるか整理することも必要かと思われる。

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価		
IV-1. 教育の達成への 努力がみられること	今後の課題	子ども学科	平成 21 年度卒業生では、選択科目であっても単位取得率（不可率が 60%以上の 5 科目）が低い科目は取得率と教育内容・指導の関係性を再検討されるべきではないかと考える。平成 21 年度で 3 年制の完成年度を迎え、新たに平成 22 年度は定員も 100 名から 60 名に変更し教育の質を高める方向で、カリキュラムでは開講科目の閉講等の改善がされているが、特に平成 21 年度「インターンシップ」の単位取得者が 1 名（10 名履修中 10%合格、不可率 90%）である点は課題と思われる。	子ども学科	特になし。
		健康福祉学科	社会福祉主事任用資格を全員に取得させるよう、「教育課程により取得可能な資格」にすることを検討されたい。また、「カラーセラピー」が履修者 5 名全員不可、「介護技術（災害時介護）」履修者 5 名中 4 名不可となっている点は課題と思われる。	人間介護福祉学科	特になし。

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
IV-2. 学生の卒業評価への取組みの努力がみられること	評価できる点	総合ビジネス学科 特になし。	<p>毎年、就職先からの調査を訪問等により実施している。平成21(2009)年度には、卒後3年間の満足度調査と、就職先による能力評価を実施して概ね高い評価を受けている。就職率は全学科ともに高く、特に専門就職比率が高い点は、求人開拓職員がいることもあるが全学体制での努力の表れと推察できる。</p> <p>キャリアカルテに基づき、全学一体となった体制が構築されており、FD/SDとともに好循環を形成している。また、同窓会を通じて一体感の形成に努め、同窓会生をスタッフとし年1回会報発行を行い、研究センターの便りなどを通じて、広く教育活動内容を報告している点が評価できる。</p>
		子ども学科 学生の就職先への思い（希望・期待）と実際の状況の違いによる就職のミスマッチが生じた際は、ゼミ教員が学生とのコミュニケーションを深める等、きめ細やかな相談に応じ、学生の現状に即した指導を重ねて卒業評価を高める努力をしていることは評価できる。	
		健康福祉学科 平成21年度に完成年度を迎え、初めての卒業生を輩出したところであるが、進路先を訪問して評価を聞くなどの努力をしている点が評価できる。	

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価		名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
IV-2. 学生の卒業評価への取組みの努力がみられること。	今後の課題	全体 卒業生評価については、感覚的な表現で示されている。やはり、具体的な数値で得られ、客観的に成果がわかるような数値を得る取組が必要ではないかと思われる。	就職先からの評価として学長も記述されているように、「考える力」「コミュニケーション力」「職業人意識」については良い評価とは言い難く、近年の学生気質や環境からの影響も大いにありと考えられ、両短大のみならず全体的課題とも思われる。
		総合ビジネス学科 学科には6つのコース別教育を実施しているが、卒業時にそれらのコースを活かした就職と教育の成果が判断できる仕組みづくりが必要だと思われる。そのことがコース教育の推進に繋がると考えられる。	
		子ども学科 就職先へのアンケート等を実施して、具体的な状況把握をする必要があるのではないか。そのことで、更に効果的な対策・改善につながるのではないかと思われる。	
		健康福祉学科 今後卒業生が増加していく中で、介護の仕事が長く続けられるよう、卒業生に対する職場の評価を参考にして、在学生の指導に活かしていくことが課題となると考えられる。	

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
◇教育目標の 達成度と教育 の効果について の特記事項	評価 できる 点	学長宛ての投書箱が設置されていることや、学生が学長研究室に直接ノックできる状況にあること、そして学長が全学生とゼミ単位で昼食会をもっていることは、学生と教員との間が近く、信頼関係が構築されていると感じられ大変評価できる。	特になし。
	今後 の課題	実務に強い学生の伝統と言われているが、その評価がどれくらい確かであるのかを確認するために、卒業生、卒業生の就職先へのアンケート等による評価を得る取り組みを実施することが期待される。	特になし。

評価領域V 「学生支援」

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
V-1. 入学に関する 支援が行われ ていること	<p>評価できる点</p> <p>入試に関する事務体制が整えられており、広報活動も積極的である点が評価できる。特別、公募、自己推薦など多様な入試が行われている点が評価できる。</p> <p>また、入試広報の観点からは、学生企画の「入試広報通信」の活動は、学生の学習成果を披露する機会や様々な体験活動を増やす意味で評価できる。</p>	<p>学苑要覧・短大入学案内に加え、学科ごとにリーフレットを作成して、ホームページも含めて十二分に広報活動を展開している。また、最寄り駅の時刻表にも名称を掲載されている。</p> <p>入学時のオリエンテーションに加え、宿泊研修もおこない親睦に努めている。さらに、入学生全員に本山参拝を教職員とともに実施し、建学の精神を学ぶ機会を提供している。</p> <p>また、模擬授業や体験コーナーなどオープンキャンパスにおいても工夫をこらしている。</p>
	<p>今後の課題</p> <p>入学時のオリエンテーションにおいて、短期大学士の「学位」についても説明をすることが必要である。</p> <p>短期大学は、学位授与機関であり、専門学校との違いを明確に示すことが必要と感じられる。建学の精神「職業教育を通して社会で活躍できる人材育成」から、母体がそうであるように専門学校的な印象をもつが、短期大学士という学士力育成という点を全学的に示されると良いと思われる。</p> <p>なお、早急の改善事項としては、入学定員を割っている点であり、今後期待するところである。</p>	<p>短大全般に言えることだが、学生の「短大離れ」の傾向が顕著である。入学生確保に向け、今後もひきつづき精力的な活動が必要と思われる。</p>

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
V-2. 学生支援が組織的に行われていること	評価できる点	各学科とも学力不足、成績不良の学生および希望する学生に対する個別指導が積極的になされている点が評価できる。	学科ごとのシラバスや独自のスキルアップノート、ガイドブックが作成されており、入学時2年間の履修計画を作成し、それに基づき年度ごとに高短キャンパスネットで登録でき便利になっている。 万一、休学する場合には、届けは年度内処理を原則とし、学期開始前に申請する仕組みで学納金等の処理を適正に実施できるようにしている。
	今後の課題	特になし。	特になし。
V-3. 学生生活支援体制が整備されていること	評価できる点	前述したが、学長宛ての投書箱が設置されていることや、学生が学長研究室に直接ノックできる状況にあること、そして学長が全学生とゼミ単位で昼食会をもっていることは、学生と教員との間が近く、信頼関係が構築されていると感じられ大変評価できる。	学務委員会を中心に、セクハラ・個人情報に関する委員会も設置され、学生の保護に努めている。 また、保健室には専任職員が常駐し、学生相談室には教員および外部カウンセラーが交代で支援する体制やカウンセリング運営委員会も設置されており、退学防止に効果を発揮している。 学生自治会において、クラブ活動で優秀な学生を内規に基づき表彰し、仏教行事の他、地域の安全活動「セーフティ高田」や学年全体のスポーツ祭を実施し学生生活を豊かにする支援をおこなっている。

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
V-3. 学生生活支援体制が整備されていること	評価できる点	特になし。	さらに、平成 22(2010)年からは周辺駅から短大への直通バスを運行し、学生駐車場も無料化するなど、学生への利便性向上を図っている。資金面での支援として特筆すべきは、短大独自の介護福祉士就労予定者奨学金を創設し、人間介護福祉学科の全員の学生が支援を受けられる点である。定員割れが起きている学科における定員確保への取り組みとして評価できる。
	今後の課題	今後、様々な問題を抱える学生が増加すると考えられるので、その状況を見ながら、カウンセリングの時間数を増やす必要があると思われる。	メンタル面で問題を抱えている多様な学生の入学が今後も予想されるので、引き続き諸問題に対応できる体制づくりが求められる。
V-4. 進路支援が行われていること	評価できる点	就職率が 95%以上あり、その努力が評価できる。特に、総合ビジネス学科の就職率 90%は、現在の社会情勢から見て、良い数値である。	キャリアカルテによる求人情報のデータベース化が構築されており、外部にいても学生が自由に閲覧できる。また、携帯電話を使用した求人情報の提供もおこなわれ、これらが高い就職率に結びついていると思われる。 教員と事務局が連携し、きめ細かい支援を行うことにより、成果を上げている。
	今後の課題	子ども学科 3 年制の成果をどのように高いレベルの就職に結びつけていくかが課題である。 また、現在の社会状況は大変厳しい就職環境であるが、総合ビジネス学科の更なる就職率向上を期待したい。	就職率の面では問題点はないが、あえて言えば、就職後の定着。保育職は離職率が高く、それ以外の業種でもミスマッチによる早期退職者を防ぐためのさらなる努力・工夫が必要かと思われる。

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
V-5. 多様な学生に対する特別な支援が行われていること	評価できる点	留学生相談室が設置されていて、中国籍の非常勤職員が相談に当たっており、留学生に安心感を与えている点が評価できる。	近年留学生、社会人学生も増え、外国人には留学生支援センターを開設し下宿の斡旋や学習奨励金や授業料の減免等、様々な支援を行っている。
	今後の課題	今後、中国以外の留学生や社会人の学生への支援も必要となると考えられる。	生涯教育の観点から、社会人学生への何らかの減免措置があると望ましい。
◇学生支援についての特記事項	評価できる点	「絆プロジェクト」や名古屋経営短期大学学業奨励金規定による「菊武学園 学園長賞」などにより、積極的に学生支援を行っている点が評価できる。 また、緊急学生支援体制として、就職が決まっているのに、学費が払えない学生に、卒業後返却義務を負う奨学金である「応急奨学金の制度」は、評価できる。その他、学生の表彰制度としての「学園長賞」は評価できる。	学生表彰制度「スキルアワード」の取り組みは、学生のモチベーションをあげるために効果的であり評価できる。
	今後の課題	特になし。	特になし。

評価領域VI 「研究」

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
VI-1. 教員の研究活動が展開されていること	<p>子ども学科の「とも育ち保育入門」や健康福祉学科の「孤独死」に関する研究など、各学科の共同研究が積極的に行われている点が評価できる。</p>	<p>短大紀要以外に、各学科年報、研究センター紀要を発行しており、投稿制限はなく研究発表の機会が作られている。</p> <p>また、毎年学内プロジェクトを募集し、GP（文部科学省：特色ある大学教育支援プログラム）や三重県助成金等の外部資金の獲得に努め、学内のみならず学外での共同研究が盛んに行われている。教員は学科ごとのプロジェクトに参画し学生や地域を巻き込んだ活動が積極的に展開されている。</p>
	<p>教員の研究業績については、現実的に研究業績が非常に多い教員がいる一方で、全く研究業績がない教員もおり、研究業績を平均的に高めていくことが課題である。</p> <p>今後、教員が研究を進めやすい研究環境や業績を発表できる機会を設けるなどして改善されることを期待する。</p>	<p>特になし。</p>
VI-2. 研究活動の活性化のための条件整備が行われていること	<p>教員の研究を掲載している紀要を学生にも配布していることで、教育と研究の関係が密接になり、研究が活性化される点が評価できる。</p> <p>海外研修についても毎年積極的に実施されている点が評価できる。</p>	<p>教員は週4日勤務し研修日を1日与えられており、捺印方式で出勤確認をおこなっている。</p> <p>平成22(2010)年からは、研究費を助成手当という形で一括口座に振込む方式に変更し、教職員の事務作業を軽減させた。</p> <p>研究室の電話は、学外への転送設定が可能で、自宅待機期間や実習期間における学生や外部との交渉等職員の手間を省き、利便性に寄与している。</p>

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
VI-2. 研究活動の活性化のための条件整備が行われていること	今後の課題	大学の研究紀要は様々な分野の論文を掲載するので、その査読は難しいが、内容のある査読体制を確立していくことが課題である。	特になし。
	評価できる点	特になし。	学科年報のさらなる充実を期待する。
◇研究についての特記事項	今後の課題	外部研究資金を獲得して、研究活動の促進を図ることが課題である。その方法は、大学全体・学科単位・研究有志グループ・個人研究等、あらゆる機会を有効的に利用する体制づくりも期待される。	特になし。

評価領域Ⅶ 「社会活動」

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
Ⅶ－１． 社会的活動への取組みが推進されていること	<p>短大全体としての公開講座の他、「保育講演会」や「健康・介護講座」など、各学科でも公開講座を実施して、積極的に取組みが推進されている点が評価できる。</p> <p>地元尾張旭市と連携した講座を長年継続して実施している点は、地域の教育拠点としての短大として評価できる。</p>	<p>仏教系の学苑の特徴を活かし、仏教文化研究センター、育児文化研究センターという２つのセンターを持ち、継続して地域社会への貢献をおこない、科目等履修生を積極的に受け入れ、生涯学習に力を入れている点は評価できる。</p> <p>また、学科独自のプロジェクトを通じて、毎年様々な企画を起こして実施している。</p> <p>さらに、地元津市との防災備蓄の連携（備蓄所提供、避難所に学校指定）をおこない、地域に貢献している。</p>
	<p>各講座がパターン化してしまわないように、絶えず参加者のニーズを把握して、活性化させていくことが課題となる。</p>	<p>特になし。</p>
Ⅶ－２． 学生の社会的活動を促進していること	<p>子ども学科と健康福祉学科でボランティア活動が積極的であり、</p> <p>また子ども学科と総合ビジネス学科ではカリキュラムに「ボランティア論」を設けている点が評価できる。</p>	<p>全学的にボランティアを積極的に推進し、ボランティア活動支援室を置いてその支援をおこなっている。学生による地域の安全確保活動(セーフティー高田)、子育て支援ボランティア、情報ボランティア、福祉施設ボランティア等を通じて多くの学生が活動に参加しており、支援体制も充実しているといえる。</p>
	<p>健康福祉学科にも「ボランティア論」が設置されると、3学科共通の社会的活動の科目となるので、検討されることを期待する。</p>	<p>特になし。</p>

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
VII-3. 国際交流・協 力への取組み の努力がみら れること	評価 できる点	教員が積極的に国際会議に出席 している点が評価できる。	カリキュラムに海外英語研修の 科目を組み入れ、オーストラリア への海外英語研修、オーストラリ アからの日本訪問研修、友好交流 協定を結ぶ中国鎮江市高等専門学 校との交流を定期的に行っている。 また、教員の学術交流や現地調査 等も精力的に行われている。
	今後 の課題	一部の教員だけでなく、教員全 体として取り組んでいくことが課 題である。	経済状況の悪化等もあり、中国 鎮江市高等専門学校との留学生に 関する具体的進展が見られないま ま、現在に至っている点が残念で ある。 また、教員の過去4カ年の活動 実績をみると、特定の教員に集中 しているような印象を受けた。今 後はより多くの教員が活動するこ とを期待したい。
◇社会的活動 についての特 記事項	評価 できる点	平成21年度に学生支援推進プロ グラムが採択され、それを実施し 成果をあげている点は評価でき る。 また、環境ビジネス学部を持つ名 古屋産業大学が主体となり、 『ISO14001』を取得して、大学全 体として資源消費の抑制と廃棄物 減量に取り組んでいる点が評価で きる。	学科の特性を活かした様々なイ ベントを企画し、地域に根付いた 活動を継続的に行っている。
	今後 の課題	特になし。	上記の成果を上げて、より地域 に根付いた活動を継続する為の経 済的バックアップを期待したい。

評価領域Ⅶ 「管理運営」

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
Ⅶ－１． 理事会等の学 校法人の管理 運営体制が確 立しているこ と	評価 でき る点	<p>理事長以下10人の常任理事会及び理事長を含む所属長懇談会がそれぞれ毎月開催され、適正に管理運営を行っている点が評価できる。</p> <p>また、「所属長懇談会」等により日頃から管理運営についての話し合いの場があり、理事会にも反映されている点が評価できる。</p>	<p>適切な管理運営のために、学長、事務局長と常に連携をとっており、また重要事項について理事会への諮問、審議事項としている。法人としての管理運営体制は確立していると評価できる。</p>
	今 後 の 課 題	特になし。	特になし。
Ⅶ－２．教授 会の短期大学 の運営体制が 確立している こと	評価 でき る点	<p>教授会はほとんど欠席者もなく、毎月開催されており、各委員会も適正に運営されており、評価できる。</p> <p>なお、教授会には教員全員が構成員となっていることから教授会における議案の決議内容、報告内容の個々の理解度に差が無く、その場で修正を加えることができ、時間的な無駄が無く、円滑な運営ができる体制が評価できる。</p>	<p>規程に基づき適切な教授会運営がなされている。また、課長職以上も構成員とし、事務局との連携についても配慮がなされている。</p>
	今 後 の 課 題	<p>職員にも積極的に発言できる機会を作り、さらなる活性化を図ることが課題であると思われる。</p>	特になし。

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
VIII-3. 事務組織が整備されていること	評価できる点	学生サービス、教育研究および地域貢献を支援する観点からきめ細かく担当部課が配置されている。決して事務側の独断でなく、教員とのコミュニケーション等により協働体制が図れていることが評価できる。	事務分掌にそった役割分担がなされており適切に運営されている。「原則正職員で」という姿勢が、事務局の強化につながっていると評価できる。 防災や情報保護についても配慮がなされている。
	今後の課題	特になし。	特になし。
VIII-4. 人事管理が適切に行われていること	評価できる点	教員と事務職員との意思疎通が図れるよう努力されている点が評価できる。 職員人事については、法人全体で仕事の習熟度・適正・経験年数・仕事の密度・人数配置年齢構成等を勘案しながら採用、異動が行われている点が評価できる。	週休2日を確保し、週40時間を超えないよう配慮がなされている。
	今後の課題	学科によっては、教員構成の見直しが課題である。	自己点検・評価報告書に「教員と職員の職務関係については曖昧な部分もある」と記述があった。今後も課題の改善に向けて努力が必要といえる。
◇管理運営についての特記事項	今後の課題	学長が出席すべきルールとなっているが、学長が欠席して教授会が開かれたこともあったり、図書廃棄、選定ルール、FD委員会、相互評価等の実施規程、ALO専任手続きルールなどが明文化されていないこともあったりする。 運営上、実質問題がなくとも、規則の整備とその遵守精神は必要であり、今後の改善が必要と考える。	特になし。

評価領域Ⅸ「財務」

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
IX-1. 財務運営が適切に行われていること	評価できる点	<p>学園全体で中・長期計画が策定され、規程に基づき、極めて組織的に編成されており、支出を極力抑えるなど節減に努め、適正に執行されている。</p> <p>金融資産管理においても格付等を基に元本毀損リスクを避ける方針を立てている点が評価できる。</p>	<p>法人事務局で事業計画を策定し、規程に基づき事務決裁処理がなされている。</p>
	今後の課題	<p>消費支出超過額を抑制し、安定した収入源の確保が今後の課題である。</p>	<p>特になし。</p>
IX-2. 財務体質が健全であること	評価できる点	<p>財務状況について、広報紙およびホームページで公開していることは評価できる。</p>	<p>添付書類の確認したところでは、特に問題点はなかった。また情報公開という点でも、収支計算書や財産目録をホームページにて公開しており、評価できる。</p>
	今後の課題	<p>学納金等収入財源の確保が課題である。</p>	<p>特になし。</p>
IX-3. 短期大学に必要な施設設備が整備され、その管理が適切に行われていること	評価できる点	<p>関連規程が整備され、管理体制が確立されている。特に学校法人としては全国的にも珍しい『ISO14001』を取得し、省エネおよび地球環境保全に取り組んでいることが評価できる。</p>	<p>災害対策や、情報セキュリティーに細心の注意を払っている点が評価できる。</p> <p>また、警察と共同した護身術講習も面白い試みである。</p>
	今後の課題	<p>特になし。</p>	<p>特になし。</p>

評価領域X「改革・改善」

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
X-1. 自己点検・評価活動の実施体制が確立していること	評価できる点	計画的に評価活動を進めている点は評価できる。	自己点検・評価委員会は、各委員会、学科センター、事務局の長から構成され、毎年『年次報告書』を各部署が学長に提出し、3～4年ごとにまとめて自己点検・評価報告書を作成しホームページにも掲載され、組織的に確実に行われている。 また、その結果を改善事項として次年度以降に反映させている点も多いことは評価できる。
	今後の課題	ALO専任手続き、相互評価、外部評価、第三者評価などの規程を明文化する必要があると思われる。またFD委員会と自己点検評価委員会の役割を明確化する必要があると思われる。	特になし。
X-2. 改革・改善のためのシステム構築への努力がみられること	評価できる点	FD委員会の設置など、前回の第三者評価での指摘事項を積極的に改善しており、評価できる。 第三者評価後、FD委員会を設置し、授業評価活動を進めている点は評価できる。	自己点検・評価を全教職員で実施し、毎年FD/SD研修会をおこない、全学共通の課題として取り組んでいる。その積み上げがきちんとなされ、全学的共通認識ができている。
	今後の課題	FD委員会は、授業評価活動を進めているが、本格的なFD活動を進めていくために、FD委員会の活動をさらに広げるとともに、自己点検・評価委員会との関係も明確にする等、更なる改革・改善が望まれる。 また、毎年の学内の活動を自己点検して何かの形で記録する必要があると思われる。	特になし。

評価項目		高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
X-3. 相互評価（独自に行う外部評価を含む）への取組みに努力していること	評価できる点	<p>高田短期大学（本学）との相互評価を積極的に計画し、実施に当たっても様々な配慮が見られ、評価できる。</p> <p>そして、率先して、相互評価を始めようとした姿勢は評価できる。</p>	<p>平成 11(1999)年の足利短大との相互評価を受けて、建学の精神の周知徹底のための行事開催の工夫や参加率の向上、教育過程の見直しをおこない、平成 11(1999)年の外部評価をうけてシラバスの改善、カリキュラムの再編等があり、自己点検・評価および第三者評価によって着実に進展させている。そのための組織づくり・人づくりをきちんとおこない、全学体制を作り上げている。</p>
	今後の課題	<p>学生の活用度および学外の認知度の向上のための更なる施策が課題である。</p>	<p>平成 21 年度に、名古屋経営短期大学と相互評価の協定を締結し、平成 22, 23 年度に相互評価を実施した。成果が出るのはこれからだが、評価しあうことで、互いに勉強になり、プラスの効果が期待できる。</p>

評価項目	高田短期大学から 名古屋経営短期大の評価	名古屋経営短期大から 高田短期大学への評価
◇改革・改善 についての特 記事項	<p>学生の資格取得を向上させるために、3学科の連携教育（選択科目の相互履修）カリキュラムを編成し、職業訓練生の受け入れや高大連携等、社会のニーズに応えようとする計画は、常に前進的努力姿勢として評価でき、益々期待される場所である。</p> <p>評価できる点</p>	<p>全学挙げて改革改善に向けて様々な取組がなされていることには目を見張るものがある。</p> <p>特に、学長主導とはいえ教員評価システムを導入し、学長面談において①教育（授業持ちコマ・評価する学生の人数・校内運営）＋②分野の貢献（論文・研究発表・学会運営）＋③社会貢献（公開講座・校外委員会）＋④私が力を発揮したこと（自由記入）の4点から自己評価するようなシステムを導入し、短大としては先進的な取組みであり、数値等による客観的評価を実践する試みを始めている。</p> <p>また、「学生生活改善のためのアンケート」を実施し、結果を公表している。</p> <p>さらに、FD/SD委員会の活動を通じ、教職員の能力向上に努めている点で評価が高い。</p>
	<p>教職員の自己省察や今後の改革・改善意識を高めるための研修会企画等、全教職員で取り組む体制づくりが必要と思われるので、更なる改革・改善方策を講じることが期待される。</p> <p>今後の課題</p>	<p>教員評価システムは導入後も毎年改善されているが、評価者によるばらつきを無くし、今後はその評価に応じた成果をいかに上げていくかが問われている。</p>

8. 相互評価関係資料一覧

高田短大への公開資料(平成19～21年度)	名古屋経営短大への公開資料(平成19～22年度)
名古屋経営短期大学憲章(学生便覧/表紙裏)	学苑要覧/仏教のしおり
学生便覧(平成21年度入学生用)	学生便覧(平成23年度入学生用)
シラバス平成22(2010)年度	各学科シラバス(平成16,17,18,19年度)
KEIEITAN Guide book 2011	子ども学科教育ヴァージョンアップ構想図 オフィス情報学科skill upチャレンジノート
学生による授業評価アンケート (平成19年～平成21年度)	学生による授業評価アンケート報告書 (平成19年～平成22年度)
短大規定集	高田短期大学校務運営に関する細則
学科別担当授業科目一覧	教員個人調書・研究業績書
学生カルテ、学籍簿、学生個票	高田短期大学職務分担表
授業評価シート	授業アンケート用紙
平成22年度学生募集要項	新入生職泊研修のしおり
平成22(2010)年度入学手続き案内	平成24(2012)年度学生募集要項
平成21(2009)年学科別進路一覧	平成24(2012)年度入学案内 (各学科紹介リーフレットを含む)
教員個人調書・研究業績書	学務関係調書/進路関係調書
名古屋経営短期大学研究紀要49.50.51号	平成22(2010)年学科別進路一覧
平成22年シニア・社会人入学試験学生募集要項	教員個人調書・研究業績書
学校法人菊武学園寄附行為	高田短期大学紀要25,26,27,28,29号
名古屋経営短期大学学則	高田短期大学コミュニティカレッジ案内 科目等履修要項
理事・監事・評議員名簿	学校法人高田学苑寄付行為
平成21年度理事会議事録	高田短期大学学則
収支計算書の概要(平成19年度～平成21年度)	理事・監事・評議員名簿
平成21年度末の貸借対照表	平成22年度理事会議事録
財産目録及び計算書類(平成19年～21年度)	収支計算書の概要(平成19年度～平成22年度)
平成15～17年度自己点検・評価報告書	平成22年度末の貸借対照表
菊武学園規定集	財産目録及び計算書類(平成19～22年度)
教員著書	平成8,11,14,17年発刊自己点検・評価報告書
子ども学研究論集(子育て環境支援研究センター)/けんこうふくし(健康福祉研究会)/環境経営研究所年報(名古屋産業大学・名古屋経営短期大学 環境経営研究所)	組織関係規程集 高田短期大学附属図書館資料収集・管理規程 その他: 育児文化センター研究紀要/育児文化研究センター講座一覧/子ども学科年報/人間介護福祉学科年報/オフィス情報学科年報/

9. 自己点検・評価委員長総括評価

総括評価：高田短期大学との相互評価を終えて

名古屋経営短期大学

自己点検・評価委員長 上田 智子

平成 19 (2007) 年度から平成 21 (2009) 年度にわたる「自己点検・評価報告書」を基に、三重県津市の高田短期大学と相互評価を実施した。本学はその前年度の調整が整わず、1 年後にようやく相手校として高田短大と相互評価の合意にこぎつけ、折しも同じ学科構成の短大同士となり、願ってもない相互評価となった。名古屋経営短期大学は平成 25 (2013) 年度の第三者評価に向けて、高田短期大学は平成 19 (2007) 年度に第三者評価を終えての中間評価として、互いに意義ある相互評価となったものと推察する。

特に本校にとっては、先に第三者評価を受けていた高田短期大学への訪問や「自己点検・評価報告書」は、来るべき平成 25 年度の第三者評価にとって大いに勉強になり、実りあるものであった。学科構成も同じことから、かなり具体的な内容の評価ができるうえ、互いの長所短所も見えやすく、訪問時に充実した質疑応答が可能になったと思われる。

自己点検・評価を行う上では、それぞれの部署や学科がおのれを客観的に見つめることができ、自己評価によってあらためて認識したり、理解できたりした。その上で、相互評価を受けることにより、自らは気づかない点や当たり前に考えていた点が浮き彫りになり、反省したり、あるいは確信を得たりした。具体的には、菊武学園の理念「愛情教育」と 60 年の歴史、社会的実践力を目標にした各学科理念や教育目標の再認識、短大憲章を作り上げたこと、全学的 ISO の取り組みによる環境教育である。課題としては、シラバスを含めた提示の仕方や総合ビジネス学科のコース別教育と就職先との関連、定員充足の達成という点があらためて確認できた。

そして、相手校を訪問評価する段階では、同じ短大といえどもその相違点に感心し、自らを顧みて比較し、学びを得た。高田短大は、仏教精神の「やわらか心」を理念として学苑全体への浸透を図り、その精神が学生への個別対応やキャリア支援等にも活かされていた。さらに、学苑組織をまとめ強固な基盤を形成しており、現状に甘んずることなく毎年改善改革を行って前進し続けている。また、各種プロジェクトや地域貢献も積極的に実施されており、その前向きな姿勢や取組みは大いに参考となった。

相互評価は相手校との良い交流のきっかけにもなり、互いに励ましあい切磋琢磨する機会を経て、次の第三者評価へのステップにしたい。

総括評価：名古屋経営短期大学との相互評価を終えて

高田短期大学

自己点検・評価委員長 三宅 啓子

名古屋経営短期大学と高田短期大学は平成 22 (2010) 年度から平成 23 (2011) 年度にわたって相互評価を実施した。その手法は、第三者評価用の「自己点検・評価報告書作成マニュアル」に沿って作成した両短期大学の「自己点検・評価報告書」に基づき、「短期大学評価基準」を取り入れて実施した。短期大学第三者評価の基本方針とその精神が「ピュアの精神」であることから、評価会議でもその精神を基本理念にして闊達な会議がなされた。なお、相互評価日程が 2 年にわたる計画から、名古屋経営短期大学は「平成 19 年～21 年度自己点検・評価報告書」を作成し、高田短期大学は「平成 19 年度～平成 22 年度自己点検・評価報告書」を作成してお互いに相互会議を 2 回実施した。具体的には、平成 21 年 9 月に「相互評価協定書」の締結を行い、その後、平成 22 年度と平成 23 年に「自己点検・評価報告書」及び関係資料の交換と資料公開をして検討した。今回新たに作成した名古屋経営短期大学・高田短期大学「相互報告書」の主な内容は、相互に「質疑応答票」「相互評価票—領域別評価」を行い、評価できる点・今後の課題を検討したものである。

名古屋経営短期大学は平成 25 (2013) 年度に、高田短期大学は平成 26 (2014) 年度に短期大学基準協会の第三者評価を受ける予定であり、本相互評価の結果を十分生かして改革・改善したいと考えている。

相互評価を実施した結果、名古屋経営短期大学についての簡単な総括をさせていただく。

建学の精神は、大学教育と経営の根幹をなすもので、それは大学の創設・設置者の教育理念・教育目的・目標、つまり目指す教育の基盤である。そういったことから、菊武学園の名古屋経営短期大学は、創設以来の精神を貫いて「職業教育を通じて豊かな人間性と技術を育み、社会に貢献し、社会とともに幸せな生活を営むことの人材を育成する」教育理念に基づいて、きめ細やかな教育実践をしている。教職員の志は「学生が主人公」「面倒見の良い大学」「自立した学生」等具体的な目標を定めて日々実践されている。多様な学生を受け入れ、社会に巣立つ若者（学生）が多くの資格・免許を取得できるような教育工夫とカリキュラムが構築され、その取得に向けての教育体制と環境構成及び、教員のサポート体制が充実している。各学科とも、常に地道で前向きな取り組みを重ねることによって、時代に即応するような改善・改革がなされている。

今後の課題としては、カリキュラムで多くの選択科目が設置されて教育環境が準備されていることへの学生の主体的な取り組み姿勢の意識付け・教育と学生の単位取得率の更なる向上が望まれる。また、総合ビジネス学科のコース別教育の特長と実際の教育効果の検討も必要であろう。さらに、国際化教育の更なる拡充とともに教育の質の保障に向けての継続的な努力も要することは、両短大の共通の課題であることも確認した。

この相互評価によって、本学にとっても大変貴重な成果を得ることができ、心より感謝申し上げる次第である。両校の更なる友好と交流を期待し、お互いの発展を祈念したい。

10. 評価日程

名古屋経営短期大学と高田短期大学の相互評価日程

平成21(2009)年 6月	名古屋経営短期大学から相互評価相手校として 高田短期大学に要請依頼
平成21(2009)年 7月～8月	相互評価打ち合わせ(連絡調整)
平成21(2009)年 9月4日	相互評価協定書の締結(会場:高田短期大学)
平成22(2010)年4月～6月 平成22(2010)年7月上旬	報告書作成要領の打ち合わせ 名古屋経営短期大学から高田短期大学へ 平成19年度～平成21年度「自己点検・評価報告書」 及び「自己点検・評価添付資料」の送付
平成22(2010)年7月～8月末	高田短期大学 相手校訪問準備 (質疑応答票・評価票の作成)
平成22(2010)年9月中旬 (9月14日)	名古屋経営短期大学 相互評価受け入れ準備 第1回相互評価会議(訪問調査)
平成22年(2010)9月～12月末	高田短期大学が名古屋経営短期大学を訪問 質疑応答(質問・回答)整理(高田短期大学)
平成23(2011)年7月初旬	高田短期大学から名古屋経営短期大学へ 平成19年度～平成22年度「自己点検・評価報告書」 及び「自己点検・評価添付資料」の送付
平成23(2011)年7月～8月末	名古屋経営短期大学 相手校訪問準備 (質疑応答票・評価票の作成)
平成23(2011)年9月中旬 (9月14日)	高田短期大学 相互評価受け入れ準備 第2回相互評価会議(訪問調査)
平成23(2011)年9月～12月末	名古屋経営短期大学が高田短期大学を訪問 質疑応答(質問・回答)整理(名古屋経営短期大学)
平成24(2012)年1月～2月	「質疑応答票」「相互評価票」の意見交換
平成24(2012)年2月～3月中旬	相互報告書作成準備及び相互報告書完成
平成24(2012)年3月末	財団法人短期大学基準協会に相互評価報告書提出

名古屋経営短期大学・高田短期大学
相互評価報告書

平成 24 年 3 月 30 日発行

編集 名古屋経営短期大学・高田短期大学
自己点検・評価委員会

発行 名古屋経営短期大学

〒488-8711 尾張旭市新居町山の田 3255-5

TEL：(0561) 54-9611 FAX：(0561) 52-0515

URL：http://www.jc.nagoya-su.ac.jp/

高田短期大学

〒514-0115 津市一身田豊野 195

TEL：(059) 232-2310 FAX：(059) 232-6317

URL：http://www.takada-jc.ac.jp/